

CELLSTAR®

取締りポイント・速度取締機・Nシステム対応
角度可変ソーラーパネル GPSソーラーレーダー探知機

SKY-235GR

9 BANDS RECEIVER

G P S / HELI-TV / DIGITAL / CAR-LOCATOR / 350.1MHz / WRECKER / POLICE / X-BAND / K-BAND

取扱説明書

初めてお使いになる場合には必ず20ページから25ページの操作を行ってください。

初めてご使用になる場合には、付属のDCコードを使用して累積で8時間以上充電をしながらご使用ください。

本機は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。くれぐれも速度の出し過ぎには注意して走行してください。
また、緊急車両が接近した場合には速やかに道をお譲りください。

このたびは、レーナビ・ソーラーをお買上げ頂き、まことにありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、本機を正しくお使い
ください。尚、お読みになられた後も、保証書と共に大切に保管してください。

目次

■ご使用の前に

安全上のご注意	1
GPS測位について	2
取締りに関する予備知識	2
無線に関する予備知識	5
使用上の注意	8
レーナビをご使用になる前に、 必ずお読みください	10
本機の特長	11
各部の名称と機能	14

■使ってみよう

取付け方法	16
内蔵バッテリーについて	19
充電方法	20

■基本操作

電源の入れ方	22
音量調整	23
ハイブリッド型L.S.C.機能	24
オートパワー機能	26
オートトーンダウン&オートディマー機能	27
タイムディマー機能	27
GPS機能について	28
GPS機能「ON・OFF」設定方法	29
GPS測位状態の確認方法	29

■GPS警告

GPS警告対象道路選択機能	30
取締りポイント	31
速度取締機	32
トンネル出口速度取締機の警告	34
GPS回避ボイス	34
GPS警告オートキャンセル機能	34
Nシステム	35

■受信機

レーダー波受信	36
ヘリテレ無線・デジタル無線	38
カーロケーター受信	40
350.1MHz無線	41
レッカー無線・署活系無線	42
バリケードアラーム	44

■便利機能

ユーザーメモリー機能	45
GPS警告ポイント消去機能	47
1キロ圏内サーチ機能	48
ミュート機能	49
タイムスキップ機能・スキップメモリー機能	50
デモンストレーション機能	52
DC動作モード機能	53
本機的全リセット	54

■故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら	55
------------	----

■資料

GPS障害について	58
-----------	----

■アフターサービスについて

保証について	60
修理を依頼される時	60
データ更新について	60
新設速度取締機、Nシステム、取締りポイント の情報提供のお願い	61
各地域のお客様相談窓口一覧	61

■仕様・定格

■付属品

初めてお使いになる場合には
必ず20ページから25ページの操作
を行ってください。

ご使用の前に

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。*物的損害とは、車両・家屋・家財等に関わる拡大損害を示します。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

-  この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

危険

-  本機はDC12V専用です。他の電圧での使用は故障の原因になりますので、絶対におやめください。
-  走行中に本機の使用をしないでください。
※交通事故の原因となります。
-  医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
※ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。
-  煙が出ている、変な臭いがあるなど異常な状態のままでは使用しないでください。
※発火して火災の原因となります。
-  水につけたり、水をかけたり、又、ぬれた手で絶対に操作しないでください。
※火災や感電、故障の原因となります。
-  万一、故障した場合は直ちに使用を中止してください。
※そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。

警告

-  運転や視界の妨げにならない場所、又は自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取付けてください。
※誤った取付けは交通事故の原因となります。
-  助手席エアバッグの近くに取付けたり配線したりしないでください。
※万一エアバッグが作動した時、本体が飛ばされ事故やケガの原因となります。また、配線が妨げとなりエアバッグが正常に動作しないことがあります。
-  電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止してください。
※感電やショートによる発火の原因となります。
-  本機は精密機器です。分解や改造は絶対に行わないでください。
※発熱、火災、ケガの原因となります。
-  ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしないでください。また、ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないでください。
※火災や感電、故障の原因となります。

注意

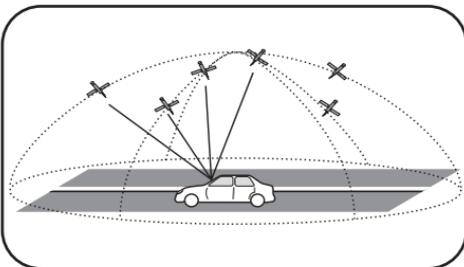
-  穴や隙間にピンや針金を入れないでください。
※感電や故障の原因となります。
-  本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
-  夏の炎天下、真冬の駐車の際はできるだけ本機を取り外してください。
※性能の劣化、本体の変形をまねく原因となります。
-  お取付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低い為にGPS信号や各種無線、レーダー波などの受信がにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。
-  一部のカーナビゲーションと同時に使用すると、本機が鳴り続ける場合があります。
-  本機を取付けているいないの状態にかかわらず、速度違反や駐車違反などに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。

ご使用の前に(つづき)

GPS測位について

GPS (Global Positioning System)

GPSとは地球の衛星軌道上にある24個のGPS専用の人工衛星からの信号を利用し位置情報を算出するシステムです。(GPS測位)この人工衛星は米国国防総省によって管理されており、不定期にGPS測位の精度が高くなったり、低くなったりします。また、衛星の配置も制御されていますので日によって衛星の配置が悪く、測位確定まで時間がかかってしまう場合もあります。



取締りに関する予備知識

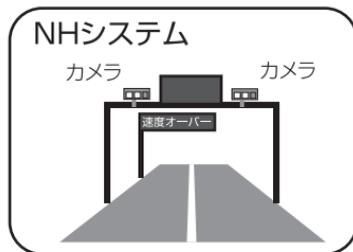
○速度違反の取締方法

1. 追尾方式<移動式(有人取締り)>

取締り用車両に、スピードメーターの指針を固定できる「取締り用スピードメーター」を搭載し、対象の車を追走して速度を測定する方式です。

2. 次世代取締機「NHシステム」<固定式(無人取締り)>

通行車両をデジタルカメラで撮影しその写真画像のブレ等から走行速度を算出する事で速度違反車両を特定します。平成16年3月現在このシステムはNシステムとは異なった目的での車両識別用監視カメラとして稼働していますが、将来的に速度取締りを行う可能性があるシステムです。

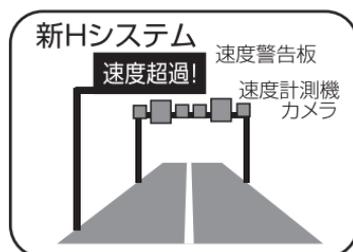
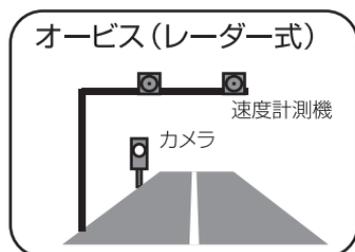


ご使用の前に (つづき)

取締りに関する予備知識 (つづき)

3.レーダー波(マイクロ波)を使用する方式<固定式(無人取締り)>

レーダーにはレーダー波(マイクロ波)と呼ばれる周波数の高い電波が使用されます。電波は周波数が高くなるほど直進性が増して指向性が強くなります。このような、電波は動く物体に反射すると、その周波数を変化させるという特性があり、それをドップラー効果と呼びます。このドップラー効果を利用して走行速度を測定します。

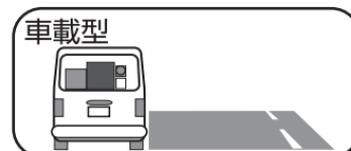


新Hシステムはレーダー波と異なった種類の電波を使用しているため、レーダーブザー開始距離が短くなることがあります。このシステムでは事前に「速度超過」などと速度警告板に表示されます。その警告を無視した違反車両をカメラでデジタル撮影します。

4.レーダー波(マイクロ波)を使用する方式<移動式(有人取締り)>

レーダー波(マイクロ波)を走行車両に当て、走行速度を計測し、その車両が速度違反の場合には、車両を停止させ検挙します。

ステルス型の場合は、レーダー波(マイクロ波)の放射時間が短いため、従来型レーダー探知機では瞬間的に「ビッ」としかレーダー警告音が鳴りません。しかし、ステルス対応型の探知機では専用のステルスアラームを使用し、ステルス型取締りに対してお知らせします。



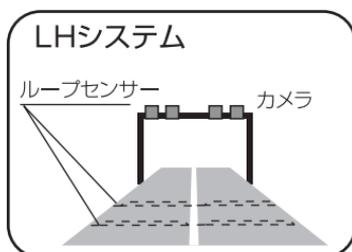
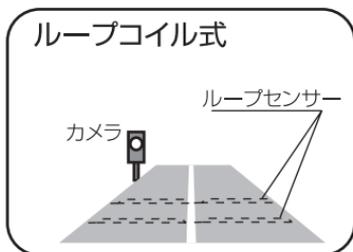
ワンボックス車等に速度取締機を積載し路肩などに駐車して取締りを行います。

ご使用の前に(つづき)

取締りに関する予備知識(つづき)

5.計測センサーを使用する方式<固定式(無人取締り)>

車が一定区間を通過する時間を測定し、その車の走行速度を算出します。使用されるセンサーにはループセンサーなどがあります。



6.計測センサーを使用する方式<移動式(有人取締り)>

車が一定区間を通過する時間を測定し、その車の走行速度を算出します。使用されるセンサーには光電管式、赤外線式などがあります。

有人取締りで、計測センサーを使用している場合レーダー波を使用せず、また取締りポイントも固定されていない為、事前にお知らせする事ができません。



○取締りポイントについて

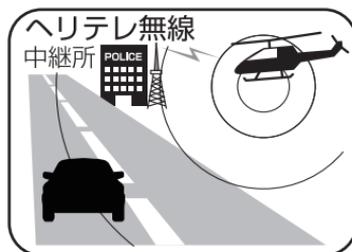
全国各地(高速道、一般道)での追尾式取締り、または移動式取締りや検問が行われていた目撃情報をもとに取締りが行われている可能性の高いエリアを取締りのポイントとして登録しています。そのため、警告があっても取締りが行われていない事や、取締りが行われていても警告がない等もありますので、あらかじめご了承ください。

ご使用の前に(つづき)

無線に関する予備知識

○ヘリテレ無線について

ヘリコプターを使った事件・事故や取締りなどの際に、ヘリコプターと地上間で使用されている無線です。本機で受信するのは、ヘリコプターから無線中継所へ送信されている電波になります。



※一部の地域や一部のヘリコプターではヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

○デジタル無線について

主に緊急車両で連絡用に使用される、連絡波を受信し、お知らせします。

デジタル通信のため、音声を聞く事はできません。



※デジタル無線は常に使用されているわけではありません。本機での受信は無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。

ご使用の前に(つづき)

無線に関する予備知識

○カーロケーターについて

カーロケーターシステム(無線自動車動態表示システム)とは

緊急車両などに搭載され、GPS信号により算出された自車位置情報を割り出して、センターなどに送信するシステムです。

このシステムを利用する事により緊急時などにおいて効率の良い運行管理を行う事ができます。この車両から送信されている電波を受信する事で緊急車両などの接近を事前を知る事ができます。緊急車両が接近した場合、速やかに道をお譲りください。



※デジタル通信のため、音声を聞く事はできません。

※一部地域では、カーロケーターシステムが配備されていないまたは、システムが異なるために受信する事ができない場合もあります。

※緊急車両に追尾されていても、カーロケーターを受信しない場合があります。カーロケーターシステムは全ての緊急車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発信しているわけではありません。このような場合には緊急車両の接近をお知らせする事ができません。

○350.1MHz無線について

速度取締り現場で、測定係と停止係の間で使用されている無線です。

この周波数を受信し、交信内容を聞く事ができます。また、速度取締りだけでなく、シートベルトの着用取締りなどでも使用されている場合があります。



※350.1MHz無線の受信は、電波の状態等によって受信状態が変わります。

※350.1MHz無線の受信で、デジタル通信の場合は、音声を聞く事はできません。

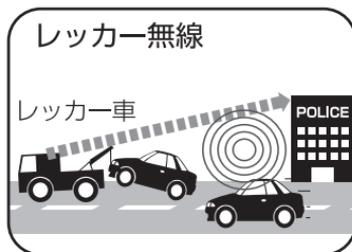
※350.1MHz無線は常に取締りに使用されているわけではありません。本機での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。

ご使用の前に(つづき)

無線に関する予備知識

○レッカー無線について

駐車違反や事故処理などでレッカー業者と警察間の連絡に使用されるレッカー無線(主に東京都内、兵庫県内のレッカー業者が使用)を含む一部の簡易業務用無線(全国の各業種・業務で使用)を受信し、その音声を聞くことができます。

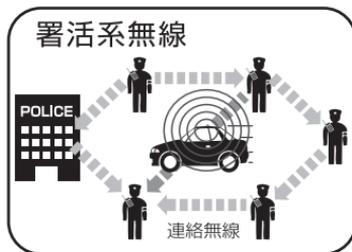


※レッカー無線は簡易業務用無線のため、その他業種の無線も受信します。あらかじめご了承ください。

○署活系無線について

警察署の管轄区域単位で使用する携帯無線で、警察署と警察官または警察官同士の通信手段として使用されている無線です。

デジタル通信のため、音声を聞く事はできません。



ご使用の前に(つづき)

使用上の注意

GPS警告について

- ※本機は、GPS測位状態で登録・記録済みデータを基に、またはレーダー波、無線電波を受信する事で警告動作を行います。GPS測位していない状態、登録・記録されていないデータ、または各種受信ができない状態では警告動作を行う事ができません。
- ※光電管を使用した有人式の速度取締りが行われている場合、その取締りに対して警告する事ができません。あらかじめご了承ください。
- ※取締りポイントの警告は、取締りの目撃情報に基づいて、本機に登録されたエリアに対しての警告であって、走行時の実際に取締りが行われているものに対しての警告ではありません。また警告の前後で取締りを行っている場合もあります。あらかじめご了承ください。
- ※GPS警告ポイントが複数隣接している場合、そのいづれか1地点に対する警告が優先されます。その為、それ以外の地点に対するGPS警告ができない場合があります。

レーダー警告について

- ※一部の自動ドアなど、速度取締機と同じ電波を使用している機器があります。その場合、本機でレーダー警告を行うことがあります。これは故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ※設置されている速度取締機の中には稼働していないものもあります。この場合、本機に登録されていない速度取締機において、レーダー波を使用している種類であってもお知らせする事ができない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもって警告する事ができません。ステルスアラームが鳴った時にはすでに計測されていることがありますので、くれぐれも単独走行、先頭走行での速度の出しすぎにはご注意ください。
- ※大型車の後方を走行する場合やカーブの急な道路を走行する場合、取締りレーダー波を受信しにくい状態になる場合があります。特にGPS信号を受信できない状態での走行時にはご注意ください。

内蔵受信機について

- ※受信した内容を第三者に漏らしたり、その内容を窃用する事は、電波法第五十九条により禁じられています。
- ※本機の内蔵受信機は、車載の電装機器（オーディオ、ナビ、ETC、無線機など）や、電源ノイズからの影響により、特定チャンネルを受信し続ける場合があります。
- ※ヘリテレ無線、350.1MHz無線、レッカー無線の受信は電波の状態や周辺環境などにより、受信状態が変わります。

ヘリテレ無線について

- ※一部地域ではヘリテレ無線が導入されていない、また搭載されていない等の理由により受信できない場合があります。※本機での受信は、ヘリコプターから無線中継所への送信電波になります。
- ※無線中継所付近では、ヘリコプターの接近にかかわらず、受信する事があります。

ご使用の前に(つづき)

使用上の注意(つづき)

デジタル無線について

※デジタル無線はデジタル通信のため、音声(会話)を聞く事ができません。

カーロケーターについて

※一部地域では、カーロケーターシステムが配備されていないまたは、システムが異なるために受信する事ができない場合もあります。

※緊急車両に追尾されていても、カーロケーターを受信しない場合があります。カーロケーターシステムは全ての緊急車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発信しているわけではありません。このような場合には緊急車両の接近をお知らせする事ができません。

350.1MHz無線について

※350.1MHz無線は、常に取締りに使用されているわけではありません。本機での受信は350.1MHz無線が使用され、電波が出ている場合に限られます。

※350.1MHz無線の受信でデジタル通信の場合は、音声(会話)を聞く事ができません。

レッカー無線について

※レッカー無線は、簡易業務用無線の中の一部です。そのため、この無線は他の業務・業種で使用される頻度が高く、連続的な受信や、頻繁に受信する場合があります。

※本機は一部のレッカー業者に割り当てられている簡易業務用無線を受信します。そのためそれ以外のレッカー業者が使用している簡易業務用無線を受信する事ができません。

署活系無線について

※署活系無線はデジタル通信のため、音声(会話)を聞く事ができません。

※署活系無線はチャンネル数が多く使用頻度も高い無線のため、連続的な受信や、頻繁に受信する場合があります。

熱反射ガラスについて

※一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いためGPS信号やレーダー波、各種無線の受信感度が低下する恐れがあります。

*熱反射ガラス使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせ下さい。

オートパワー機能について

※お車を駐車する周囲に、工事現場や幹線道路がある場合など、周辺の振動や騒音を検出し、オートパワー機能で電源が切れない場合があります。使用しない場合にはPOWERスイッチで電源を切ってください。

内蔵バッテリーの消耗について

※コードレスで使用する場合、警告・無線受信の頻度、動作設定内容などによっては内蔵バッテリーの消耗がばげしくなります。あらかじめ、ご了承ください。

ご使用の前に(つづき)

レーナビをご使用になる前に必ずお読みください。

- ※本機を取り付けているいないにかかわらず、速度違反、駐車違反などに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転を心がけてください。
- ※GPS信号を正常に受信している場合であっても、各種設定内容によって、速度取締機や取締りポイントなどへ、警告できない場合があります。その場合でも、弊社としては一切の責任を負いかねます。
- ※本機の誤った取扱いによる車両や車載品などの事故・破損・故障・損害などが発生しましても弊社では一切の責任を負いかねます。また、補償なども一切ありません。
- ※本機に内蔵されている各種受信機は、各種設定内容や受信状況、周辺環境によって受信できない場合があります。その場合でも、弊社としては一切の責任を負いかねます。
- ※本機は日本国内仕様です。海外では使用しないでください。

ご使用の前に(つづき)

本機の特長

■ GPSアンテナ内蔵 角度可変ソーラーパネル

GPSアンテナをソーラーパネル部に内蔵。サンバイザーなどへの取付けが可能です。

■ ボイスガイド機能

各種設定時、各種記録/消去時に「〇〇を設定しました。」「記録しました。」などと設定内容等を女性の声でお知らせします。

■ フラッシュモニター搭載

フルカラー(7色)LEDの採用により、レーダー波を使用しない速度取締機(LHシステム、ループコイル)、ヘリテレ無線、デジタル無線、カーroukーター、350.1MHz無線、レッカー無線、署活系無線の受信を色別表示。受信時にはフラッシュモニターがフラッシング(速い点滅)をして注意を促し、また各種設定時にはボイスガイドと点灯色の変化により設定内容が確認できます。

GPS警告

■ 取締りポイント<登録件数 約480箇所>(ON/OFF機能付き) <31ページ>

検問や、頻繁に取締りが行われるエリア、また取締り車両の目撃多発地点を取締りポイントとして登録。取締りポイントの半径約1キロ圏内から「* ボーン」高速道(一般道)、取締りポイントに注意してください。」と最大3回のアナウンスとランプ表示でお知らせします。*取締りポイントは距離のアナウンスがありません。

■ 速度取締機<登録件数 約660箇所>(ON/OFF機能付き) <32ページ>

NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービスの速度取締機設置情報を登録。

○最大約2キロ手前からの4ステップGPS警告機能(高速道のみ)

- ①「* ボーン」2キロ先、高速道、LHシステムに注意してください。」
- ②「* ボーン」1キロ先、高速道、LHシステムに注意してください。」
- ③「* ボーン」500m先、高速道、LHシステムに注意してください。」
- ④「* ボーン」カメラは右側です。」・・・など、速度取締機の約2キロ手前、約1キロ手前、約500m手前の3回の警告、約200m手前でのカメラ位置ボイスの4ステップGPS警告を行います。

*一般道、ユーザーメモリーの記録ポイントは、約1キロ手前からの3ステップGPS警告を行います。

○速度取締機識別

NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービスの5種速度取締機を識別し、アナウンスとランプ表示でお知らせします。

○可変式速度取締機識別

4ステップGPS警告で「1キロ先、一般道、可変式LHシステムに注意してください。」などと可変式速度取締機を識別し、お知らせします。

○カメラ位置ボイス

速度取締機の手前約200mで「* ボーン」カメラは右側です。」などとカメラ位置を右側・左側・正面と3パターンを識別し、お知らせします。

■ Nシステム<登録件数 約1650箇所>(ON/OFF機能付き) <35ページ>

自動ナンバー読み取り装置(Nシステム)の設置情報を登録。DCコード使用の有無に関わらず、約500m手前でのアナウンスとランプ表示でお知らせします。

■ 道路識別機能 <30ページ>

GPS警告時、「* ボーン」高速道(一般道)、取締りポイントに注意してください。」など、高速道/一般道の道路種別を識別し、アナウンスとランプ表示でお知らせします。

■ トンネル出口速度取締機対応 <34ページ>

トンネル出口付近に設置されている速度取締機に対して、GPS警告をトンネルの手前で「* ボーン」トンネル出口、高速道、LHシステムに注意してください。」などとお知らせします。

■ GPS回避ボイス <34ページ>

GPS警告中に、お車の進行方向が警告対象の速度取締機から外れた場合は、「* ボーン」取締機を回避しました。」とお知らせします。

ご使用の前に(つづき)

本機の特長(つづき)

GPS警告

■GPS警告オートキャンセル機能 <34ページ>

GPS警告が始まってから一定時間が経過しても、登録ポイントを通過しない場合には低速走行または停止中と判断して「P-ブーン」解除しました。注意してください。」とアナウンスして自動的にGPS警告をキャンセルします。

■GPS警告対象道路選択機能 <30ページ>

GPS警告の対象道路を「Hi(高速道路)/Ci(一般道路)/All(全て)」の3種類から設定する事ができます。

本機の内蔵受信機

■ヘリテレ無線受信機搭載(感度2段階切替え機能&ON/OFF機能付き) <38ページ>

ヘリコプターによる取組み等で使用されているヘリテレ(Heli-TV)無線で、無線中継所への送信電波を受信し、その音声を聞くことができます。

■デジタル無線受信機搭載(感度2段階切替え機能&ON/OFF機能付き) <38ページ>

デジタル無線の中でも緊急車両で使用されている連絡波を受信します。

※デジタル通信のため、音声を聞くことはできません。

■カーロケーター受信機搭載(感度2段階切替え機能&ON/OFF機能付き) <40ページ>

緊急車両に搭載されているカーロケーターシステム(無線自動車動態表示システム)の通信電波を受信します。

○カーロケーターAI(人工知能)機能

緊急車両が近づいているのか、遠ざかっているのかをレーナビ自身が考え、その結果をお知らせします。

○カーロケーター受信感度切替え機能

カーロケーターの受信感度を「Hi(半径約1キロ)/Lo(半径約500m)」2段階に切替えることができます。

■350.1MHz無線受信機搭載(ON/OFF機能付き) <41ページ>

取締り現場で使用されている無線(350.1MHz)を受信し、その音声を聞くことができます。

■レッカー無線受信機搭載(感度2段階切替え機能&ON/OFF機能付き) <42ページ>

駐車違反や事故処理などでレッカー業者と警察間の連絡に使用されるレッカー無線(主に東京都内・兵庫県内のレッカー無線業者が使用)を含む、一部の簡易業務無線(全国の各業種・業務で使用)を受信し、その音声を聞くことができます。

※DCコード使用時(DC12V入力時)のみ受信します。

■署活系無線受信機搭載(感度2段階切替え機能&ON/OFF機能付き) <42ページ>

警察署と警察官または警察官同士の連絡波を受信します。

※DCコード使用時(DC12V入力時)のみ受信します。

※デジタル通信のため、音声を聞くことはできません。

■バリケードアラーム <44ページ>

短時間で複数の警察関係無線を受信すると、「ピンポーン」「ピンポーン」「ピンポーン」、注意してください。」と専用のアナウンスをします。

■Xバンド&Kバンド受信機搭載 <36ページ>

信頼の高感度ダブルスーパーヘテロダイン方式で、レーダー波(Xバンド、Kバンド)を受信します。

○レーダー波自動距離測定回路内蔵

レーダー波の強さに応じて、ウォーニングランプ、ブザー音に変化してお知らせします。

○レーダー波受信感度オート切替え機能

レーダー波の受信感度「エクストラ/ウルトラ/スーパー」の3段階を、お車の走行速度に合わせ、自動で切替えます。また、受信感度を固定させることもできます。

○ステルスアラーム

ステルス型取締りを識別し、専用のステルスアラームでお知らせします。

ご使用の前に(つづき)

本機の特長(つづき)

便利機能

■ 1キロ圏内サーチ機能 <48ページ>

現在地から半径約1キロ圏内で速度取締機、ユーザーメモリーの記録ポイントの有無を検索する事ができます。

■ ハイブリッド型L.S.C.(ロー・スピード・キャンセラー)機能 <24ページ>

GPS測位状態では、お車の低速走行時に不要なレーダー警告音をミュート(消音)し、GPS機能「OFF」またはGPSサーチ状態では内蔵ムービングセンサーでお車の振動が少ない停止時や渋滞時に不要なレーダー警告音をミュートします。

※各ランプ、アナウンスによるGPS警告は行います。

■ オートパワー機能 <26ページ>

本機内蔵のムービングセンサーを利用して、お車が駐車中などの振動の少ない状態で約3分間以上続いた時に、自動的に電源を切ります。エンジン始動や発進などで再度連続的な振動を検知すると、自動的に電源が入ります。

■ ユーザーメモリー機能 最大30箇所記録可能 <45ページ>

最大で30箇所のポイントを記録し、GPS警告を行います。(方向識別します)

※ユーザーメモリーの記録ポイントは、道路識別のない、約1キロ手前からの3ステップGPS警告です。

■ GPS警告ポイント消去機能 <47ページ>

取締りポイント、速度取締機、Nシステムに対してGPS警告の不要なポイントを記録し、消去する事ができます。※取締りポイントで5箇所、各種速度取締機で5箇所、Nシステムで12箇所まで消去できます。

■ オートトーンダウン&オートディーマー機能 <27ページ>

レーダー警告が始まってから約30秒後(ステルス波は約10秒後)に、警告音の音量とウォーニングランプの光量を抑えます。

■ タイムディーマー機能 <27ページ>

GPS時刻情報により、4月~10月は18:00~05:00間、11月~3月は17:00~06:00間に、各ランプ(フラッシュモニターを除く)の光量を抑えます。

■ ミュート機能 <49ページ>

各受信機の受信動作中に警告音やアナウンスをミュート(消音)します。

※GPS警告のアナウンスはミュートできません。

■ タイムスキップ機能 <50ページ>

ヘリテレ無線、デジタル無線、レッカー無線、署活系無線のうち特定のチャンネルを約10分間スキップ(受信拒否)します。

※同時にタイムスキップできるのは、最大5チャンネルです。

■ スキップメモリー機能 <50ページ>

ヘリテレ無線、デジタル無線、レッカー無線、署活系無線のうち特定のチャンネルを記録し、スキップ(受信拒否)します。

■ デモンストレーション機能 <52ページ>

本機、警告動作などのデモンストレーションを行います。

■ 内蔵バッテリー残量表示機能 <21ページ>

内蔵バッテリーの残量をバッテリーランプで表示します。また内蔵バッテリーの残量が少なくなると、「充電をしてください。」などとアナウンスします。

■ DC動作モード機能 <53ページ>

DCコード使用して本機をお使いの場合、DC12Vの入力有無により本機の電源を「ON/OFF」します。

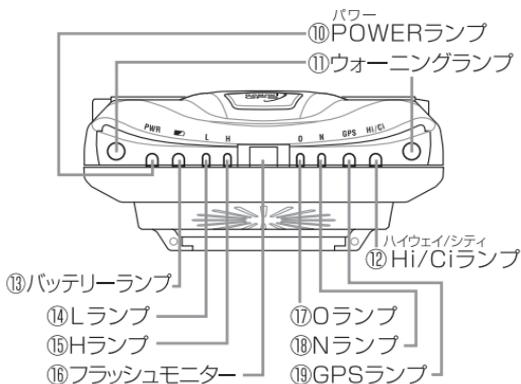
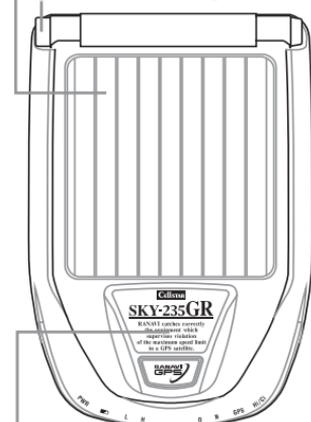
■ DC12V入力モニタリング機能 <21ページ>

DCコード接続時、DC12Vが入力されているかどうかをバッテリーランプで表示します。

ご使用の前に(つづき)

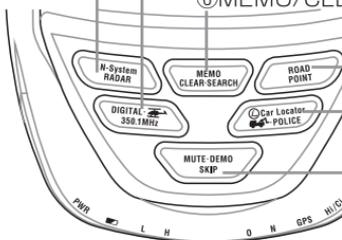
各部の名称と機能

- ①ソーラーパネル
- ②ソーラーパネル角度固定ネジ

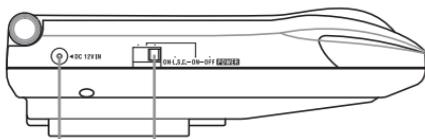


- ③GPSアンテナ(内蔵)

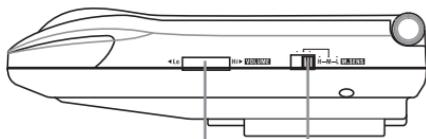
- ④エヌ/レーダー N/RADARボタン
- ⑤デジタル・ヘリ/350.1メガヘルツ DIGITAL・HELI/350.1MHzボタン
- ⑥メモ/クリア・サーチ MEMO/CLEAR・SEARCHボタン



- ⑦ロード/ポイント ROAD/POINTボタン
- ⑧エル/レッカー・ポリス L/WRECKER・POLICEボタン
- ⑨ミュート・デモ/スキップ MUTE・DEMO/SKIPボタン



- ⑳DC12Vソケット
- ㉑POWERスイッチ



- ㉒音量ボリューム
- ㉓M.SENSスイッチ

ご使用の前に(つづき)

各部の名称と機能(つづき)

- ①ソーラーパネル
太陽光を受けて発電し、内蔵バッテリーを充電します。
- ②ソーラーパネル角度固定ネジ<16ページ>
ソーラーパネルの開閉で使用します。
- ③GPSアンテナ(内蔵)
GPS衛星からの信号を受信します。
エヌ/レーダー
- ④N/RADARボタン <35、36ページ>
Nシステム・レーダー波受信などの設定をします。
デジタル・ヘリ/350.1メガヘルツ
- ⑤DIGITAL・HELI/350.1MHzボタン
<38、41ページ>
デジタル無線・ヘリテレ無線・350.1MHz無線などの設定をします。
メモ/クリア・サーチ
- ⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン
<45、46、47、48ページ>
ユーザーメモリー機能・1キロ圏内サーチ機能などの設定をします。
ロード/ポイント
- ⑦ROAD/POINTボタン <29、30、31ページ>
GPS警告対象道路選択機能・取締りポイントなどの設定をします。
エル/レッカー・ポリス
- ⑧L/WRECKER・POLICEボタン
<40、42ページ>
カーロケーター・レッカー無線・署活系無線などの設定をします。
ミュート・デモ/スキップ
- ⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン
<26、49、50、51、52ページ>
ミュート機能、デモンストレーション機能、タイムスキップ・スキップメモリー機能などの設定をします。
パワー
- ⑩POWERランプ(橙・赤・緑色)
<22、25、36ページ>
電源のON/OFF状態や、L.S.C.機能の状態、レーダー波受信感度などを表示します。
- ⑪ウォーニングランプ(青色)<27、37ページ>
レーダー警告時、レーダー波の強さに応じて表示します。
ハイウェイ/シティ
- ⑫Hi/Ciランプ(橙・赤・緑色)
<22、30、31、32、35ページ>
GPS警告の対象道路、取締りポイント警告のON/OFFを表示します。またGPS機能のON/OFFを表示します。
- ⑬バッテリーランプ(橙・赤・緑色)
<21、22ページ>
内蔵バッテリーの残量確認、DC12V入力モニタリングの表示をします。

- ⑭ランプ(赤色) <31、32、45ページ>
LHシステム、ループコイルに対してのGPS警告時に点滅します。
- ⑮ランプ(橙色) <31、32、45ページ>
NHシステム、新Hシステム、LHシステムに対してのGPS警告時に点滅します。
- ⑯フラッシュモニター
<31、32、35、36、38、39、40、41、42、43、44、50ページ>
LHシステムやループコイルに対してのGPS警告ヘリテレ無線、デジタル無線、カーロケーター、350.1MHz無線、レッカー無線、署活系無線の受信時に色別表示します。

●「フラッシュモニター」の表示

警告内容	点滅色
LHシステム、ループコイル	赤色
ヘリテレ無線	橙色
デジタル無線	青色
カーロケーター	青緑色
350.1MHz無線	紫色
レッカー無線	緑色
署活系無線	白色

- ⑰ランプ(黄色) <31、32、45ページ>
オービスに対してのGPS警告時に点滅します。
- ⑱ランプ(緑色) <31、32、35、45ページ>
NHシステム、Nシステムに対してのGPS警告時に点滅します。
- ⑲GPSランプ(赤色) <22、29ページ>
GPS測位状態を表示します。
- ⑳DC12Vソケット <20ページ>
DCコードを接続し、DC12Vを本機に入力します。
パワー
- ㉑POWERスイッチ <20、22、24、29、38、42、46、47、51、53、54ページ>
電源のON/OFFを行う時、L.S.C.のON/OFF切替え時に操作します。
- ㉒音量ボリューム <23ページ>
警告音や、操作時のボイスガイドなどの音量を調整します。
ムービングセンサー
- ㉓M.SENSスイッチ <24、25ページ>
内蔵のムービングセンサーの感度を調整します。
- ㉔スピーカー
警告音や、操作時のボイスガイドなどが鳴ります。

使ってみよう

使ってみよう

取付け方法

取付け方法

○マウントベースの取付け

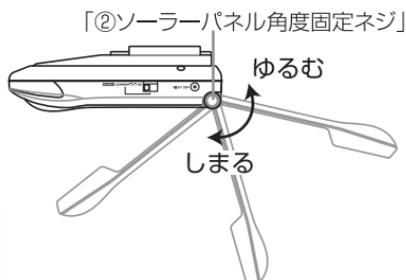
1. ダッシュボード 取付け	2. フロントガラス 取付け	3. フロントガラス 上部取付け	4. サンバイザー 取付け
<p>本機取付部を180度回転 ←マウントベース</p> <p>ダッシュボード取付用両面テープ</p>	<p>←マウントベース</p> <p>吸盤(大)</p> <p>吸盤(小)</p>	<p>② ①</p> <p>※目安位置</p> <p>補助プレート</p> <p>吸盤(大)</p> <p>吸盤(小)</p> <p>ウインドウ取付金具</p> <p>はめ込みます。表面を上にして</p>	<p>サンバイザークリップ差し込み口</p> <p>サンバイザー保護シール</p> <p>サンバイザークリップ</p>
<p>①マウントベースの本機取付部を180度回転します。</p> <p>②底面にダッシュボード取付用両面テープを使用し取付けます。</p>	<p>マウントベースに吸盤を取付けてフロントガラスへ取付けます。</p>	<p>①マウントベース取付け部に補助プレートをスライドさせてはめ込みます。 ※プレートを目安位置に合わせてください。</p> <p>裏面 表面</p> <p>②ウインドウ取付金具を差し込みます。</p>	<p>①サンバイザー保護シールを貼り付けます。</p> <p>②サンバイザークリップを取付けて、本機とクリップでサンバイザーを挟み込みます。</p>

○ソーラーパネルの開き方

1. 「②ソーラーパネル角度固定ネジ」を十分にゆるめてソーラーパネルを開いてください。
2. ソーラーパネルの角度が決まったら「②ソーラーパネル角度固定ネジ」をしっかりと締めてください。

※ネジを締めたままま開くと、本機の破損を招きます。十分にご注意ください。

※ネジは左に回すとゆるみます。右に回すと締まります。



注 意 サンバイザー表面の材質によっては、サンバイザーの表面に本機の取付け跡や色移り等を招く場合があります。サンバイザーへ取付けられる場合には必ずサンバイザー保護シールを使用してください。

使ってみよう(つづき)

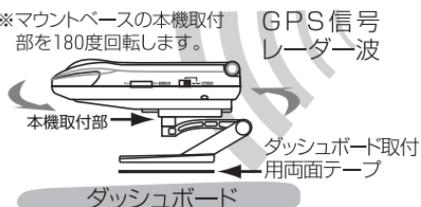
取付け方法(つづき)

○お車への取付け

1. ダッシュボード取付け

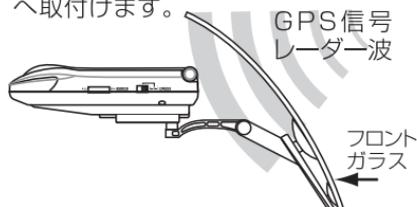
付属のダッシュボード取付用両面テープを使用してダッシュボードへ取付けます。

※マウントベースの本機取付部を180度回転します。



2. フロントガラス取付け

付属の吸盤(大)とゴムブッシュまたは吸盤(小)を使用して、フロントガラスへ取付けます。



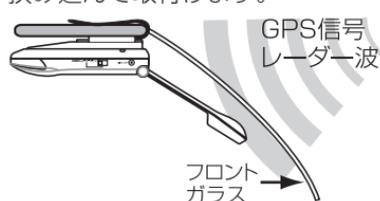
3. フロントガラス上部取付け

補助プレートとウインドウ取付金具、吸盤(大・小)を使用して、フロントガラスへ取付けます。



4. サンバイザー取付け

サンバイザー保護シールとサンバイザークリップを使用して、サンバイザーを挟み込んで取付けます。

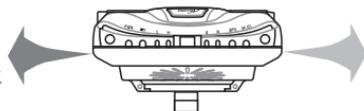


○取付け角度の調整

左右の角度調整

マウントベースを本体に取付けてから本体ごとマウントベースを左右に回して角度調整をしてください。

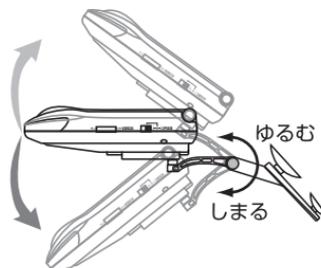
※ネジがゆるんだ場合は、プラスドライバーで締めてください。



上下の角度調整

上下角度調整ネジをゆるめてお好みの位置を決めたら、上下角度調整ネジを締めて、固定してください。

※片方のネジを固定し、もう一方のネジを回してください。
※本機を道路に対して水平になるように調整してください。
※太陽光の角度により、表示ランプが見えにくい場合があります。



使ってみよう(つづき)

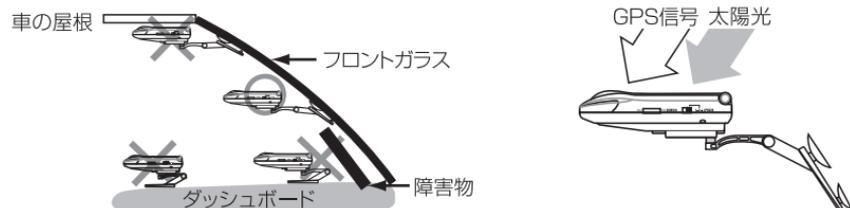
使
っ
て
み
よ
う

取付け方法(つづき)

○取付け時の注意事項

レーナビ・ソーラーは上空からのGPS信号受信と前後方向からのレーダー波を受信してお知らせします。また、ソーラーパネルによる充電機能を備えています。そのため本機の上や前(車の進行方向)などに、金属などの障害となるものがないように本機をお取付けください。

取
付
け
方
法



サンバイザーなどに取付ける場合には必ずソーラーパネルに直接太陽光が当たるように、また、GPSアンテナ部がGPS信号を受信できるようにソーラーパネルを開いた状態で取付けてください。



注
意

お車によっては、本機をサンバイザーに取付けた場合、ソーラーパネルによる充電、GPS信号の受信ができない場合があります。



注
意

一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低い
ためレーダー波やGPS信号、各種無線の受信感度が低下する恐れがあります。
熱反射ガラス使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせ下さい。



注
意

フロントガラスの湾曲のきつい部分への取付けはおやめください。
内蔵ムービングセンサーの振動検知がしにくくなったり、不安定な取付けに
より、本体が落下して思わぬ事故やケガの原因になります。



注
意

運転や視界の妨げにならない場所、エアバッグの近くまたは車両の機能(ハンド
ル、ブレーキ)の妨げにならない場所へお取付けください。誤った取付けは交通
事故の原因となります。

使ってみよう(つづき)

内蔵バッテリーについて

本機は、DC12V入力または内蔵バッテリーを電源として動作いたしますが、特に内蔵バッテリー(コードレス)での使用の際は、いくつかの注意点があります。以下の注意点をよくご理解の上、ご使用ください。

○使用上の注意点



本機は内蔵バッテリー満充電で、連続最大約80時間のコードレス使用を実現していますが、これは最も少ない消費電流で動作している場合に限られます。実際の使用状況により、約80時間使用できない場合があります。あらかじめご了承ください。



初めてお使いになる場合には、必ずDCコードを接続し充電をしながらご使用ください。充電時間の目安は累積で約8時間です。

※必ずオートパワー機能を「ON」に設定して、節電しながらご使用ください。

使用例：1時間充電×8回



本機は、さまざまな省電力対策を施しておりますが、GPS測位時に多量の電気を消費します。内蔵バッテリーの電圧がある一定値以下になると内蔵バッテリー保護のため、GPS機能が強制的に停止しますので、ご注意ください。



ソーラーパネルでの充電は、あくまで補助的な充電です。本機の動作頻度が高い地域または降雪地域などで、冬期にソーラーパネルでの充電ができなくなるなど、早く内蔵バッテリーが消耗する場合があります。ご注意ください。



ソーラーパネルの発電能力は、天候、取付け場所によって大きく左右されます。夜間、雨天曇り降雪時などは、発電されませんので、DCコードを接続して使用してください。

※本機を長期間使用せずに放置すると、内蔵バッテリーが空になってしまう場合があります。その場合、GPS測位の各種データは消去され、次回の使用時、GPS測位に時間がかかる場合がありますので、ご注意ください。

※長期間ご使用にならない場合、必ず「②POWERスイッチ」を「OFF」にしてください。

※内蔵バッテリーには寿命があります。充電が十分にできなくなってきたら新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが目安は約3年です。)

また、内蔵バッテリーの交換については、お買い上げの販売店または、最寄のおお客様相談窓口、カスタマーセンターにご相談ください。

※フロントガラスに着色してある、または特殊加工してある車種の場合、ソーラー充電効率が低下して内蔵バッテリーの消耗が早くなります。

※内蔵バッテリーの消耗が激しいときは、DCコードでのご使用をおすすめします。

※DCコードのシガープラグ内部のヒューズが切れた場合は新しいヒューズ(1A)に交換してください。

※一部の車種においては、DCコードのシガープラグ形状が合わない場合があります。

使ってみよう(つづき)

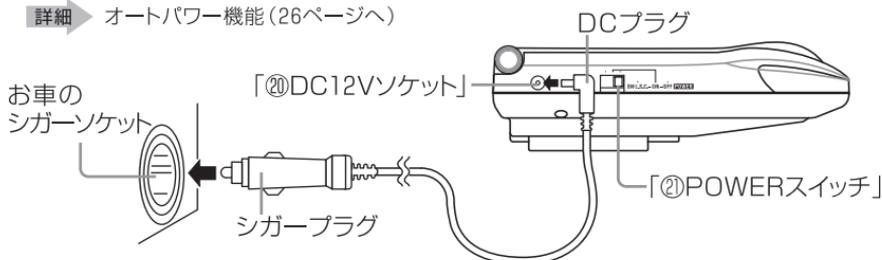
充電方法

○DCコードでの充電方法

! 初めてお使いになる場合や、バッテリーの充電が必要な状態になった場合は、必ずこのDCコードでの充電を行ってください。

DCコードのシガープラグをお車のシガーソケットに接続させてください。
※必ずオートパワー機能を「ON」に設定し、充電を行ってください。

▶ オートパワー機能(26ページへ)



※DCコードでの充電時間の目安は累積で約8時間です。

※DCコードでの充電は、「②POWERスイッチ」が「OFF」の場合でも充電できます。ただし、お車のエンジンがかかっている場合にに限られます。(一部車種除く)

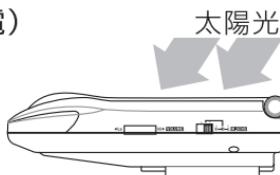
充電を十分にした後には、DCコードを抜いてコードレスでもご使用いただけます。

! **注** DCコードをお車のダッシュボードなどに固定した場合、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、DCコードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分にご注意ください。

! **注** DC動作モードを設定しない場合、DCコード使用中にDC12Vの入力が切れても内蔵バッテリーに切り替わり、電源は切れません。本機を使用中だけでなくとも電源が切れず、内蔵バッテリーが消費していく事があります。必ずオートパワー機能を「ON」にした状態でご使用ください。 **▶** DC動作モード機能(53ページへ)

○ソーラーパネルでの充電方法(補充電)

ソーラーパネルに直接太陽光が当たるように取付け位置を調整してください。



夜間、雨天曇り降雪時などの日は太陽光が弱いため、ソーラーパネルでの充電は行われません。

※ソーラーパネルでの充電は、「②POWERスイッチ」が「OFF」の場合でも行えます。

※満充電後は、全く充電されない状態でも最大約80時間連続使用(最小消費電力動作時)ができますが、使用条件や環境などで使用時間が短くなりますのでご注意ください。

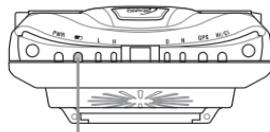
使ってみよう(つづき)

充電方法(つづき)

○DC12V入力モニタリング機能

DCコード使用時、DC12Vが入力されているかどうかを「⑬バッテリーランプ」で表示します。

DC12Vが入力されている場合「⑬バッテリーランプ」が緑色に点灯し、DC12V入力が切れている場合は点滅、または消灯します。



「⑬バッテリーランプ」

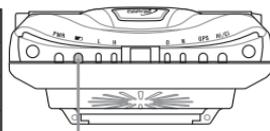
○内蔵バッテリーの残量確認方法

電源が入ると「⑬バッテリーランプ」で、内蔵バッテリーの残量をお知らせします。

※DC12Vの入力がある場合、内蔵バッテリーの残量表示はしません。

充電が十分にされた状態で電源が入ると、「⑬バッテリーランプ」が緑色で5回点滅します。また、待機状態では下図の表示を行います。

「⑬バッテリーランプ」	内蔵バッテリーの残量
消灯	満充電～(使用可能状態)
橙色点滅	要充電(GPS機能強制停止) ※1
赤色点滅	要充電(全機能強制停止) ※2
緑色点灯	充電中<DC12V入力>(使用可能状態)



「⑬バッテリーランプ」

※1:「GPSを解除しました、充電をしてください。」とアナウンスし、GPS機能が停止します。

※2:「受信できません。充電をしてください」と約30秒毎にアナウンスし、全機能強制停止になります。

※1、※2の状態よりDC12V入力をする、「ブーン」GPSをサーチします。」をアナウンスし、GPS測位をはじめます。内蔵バッテリーの残量が低下した場合は付属のDCコードを使用し、充電しながらご使用ください。



注 バッテリーランプが赤色点滅になった場合、各種設定や記録は保護されています。本機を長期間使用せずに放置すると、内蔵バッテリーが空になってしまう場合があります。その場合、バッテリーランプ表示やアナウンスはありません。

基本操作

電源の入れ方

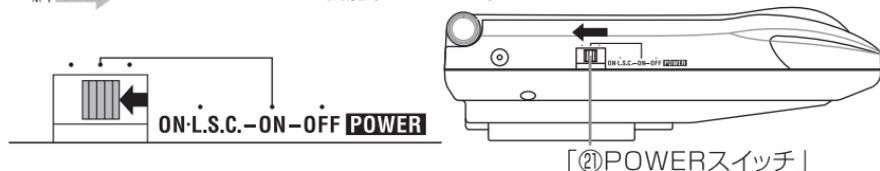
 初めてご使用になる時は、付属のDCコードを使用して累積で約8時間以上充電しながらご使用ください。

詳細 ▶ 充電方法 (20ページへ)

電源を入れてください。

「②POWERスイッチ」を「ON」または「ON・LSC」※1にして本機の電源を入れてください。電源が入ると「ピピッ、ピピッ」と鳴ります。

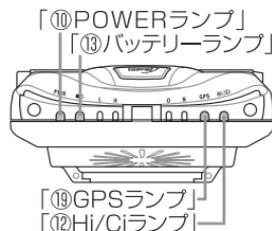
※1 詳細 ▶ ハイブリッド型L.S.C.機能 (24ページへ)



電源が入ると「⑩POWERランプ」が点滅し、「⑫Hi/Ciランプ」「⑬GPSランプ」が点滅します。

※「⑬バッテリーランプ」は内蔵バッテリー残量により点滅します。

※GPS機能「OFF」に設定の場合は「⑫Hi/Ciランプ」が消灯し、「⑬GPSランプ」が2回点滅を繰り返します。



電源を切ると

各種設定した内容は保護されます。次に電源を入れた時には、電源を切る前の状態から始まります。



注意

お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合。

GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが(約15分程度)、これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位が確定すると「ピンポン」GPSを測位しました。」とお知らせします。

基本操作(つづき)

電源の入れ方(つづき)

電源が入ると、この状態から動作します。お買い求め頂いた時、各種設定は工場出荷状態になっています。

詳細▶ 本機の全リセット方法(54ページへ)

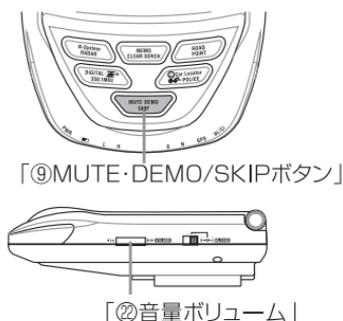
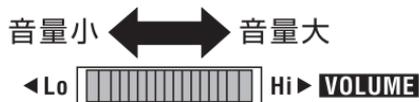
工場出荷状態

GPS機能……………ON	レーダー波受信感度……………オート
GPS警告対象道路選択機能…All	ヘリテレ無線受信感度……………Hi
取締りポイントGPS警告……………ON	デジタル無線受信感度……………Hi
NシステムGPS警告……………ON	カーロケーター受信感度……………Hi
ヘリテレ無線受信……………ON	レッカー無線受信感度……………Hi
デジタル無線受信……………ON	署活系無線受信感度……………Hi
カーロケーター受信……………ON	DC動作モード機能……………OFF
350.1MHz無線受信……………ON	その他記録データ……………消去
レッカー無線受信……………OFF	
署活無線受信……………OFF	

音量調整

「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」を押してデモンストレーションを行います。音が出ている間に「⑩音量ボリューム」を回して音量を調整してください。

詳細▶ デモンストレーション機能(52ページへ)



基本操作(つづき)

ハイブリッド型L.S.C.機能

GPS測位状態では、お車の低速走行時に不要なレーダー警告音をミュート(消音)し、GPS機能「OFF」またはGPSサーチ状態では内蔵ムービングセンサーでお車の振動が少ない停止時や渋滞時に不要なレーダー警告をミュートします。

※GPS測位状態ではお車が設定速度以下で走行中の時、GPS測位していない状態では振動が少ない状態時に警告音をミュートします。

※GPS警告対象道路選択機能の設定により、低速走行時の設定速度が異なります。

GPS警告対象道路設定	低速走行の設定速度
All(全て)	約30km/h以下
Hi(高速道)	約50km/h以下
Ci(一般道)	約30km/h以下

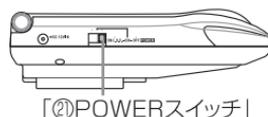
詳細 → GPS警告対象道路選択機能
(30ページへ)

○ハイブリッド型L.S.C.機能「ON/OFF」設定方法

ハイブリッド型L.S.C.機能の「ON/OFF」設定を「②POWERスイッチ」、ムービングセンサーの感度設定を「③M.SENSスイッチ」で行います。

1. 「②POWERスイッチ」を「ON」から「ON・LSC」、「ON・LSC」から「ON」とスライドすると、設定内容をアナウンスします。

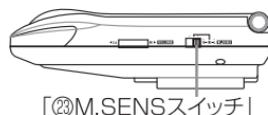
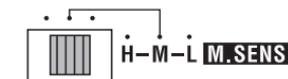
※電源が入った直後は、設定をアナウンスしません。



「②POWERスイッチ」	ハイブリッド型L.S.C.機能	ボイスガイド
ON・LSC	「ON」	「LSCを設定しました。」
ON	「OFF」	「LSCを解除しました。」
OFF	—	—

2. 下記「③M.SENSスイッチ」で、ムービングセンサーの感度設定をします。

詳細 → ムービングセンサーの感度設定方法(25ページへ)



基本操作(つづき)

ハイブリッド型L.S.C.機能(つづき)

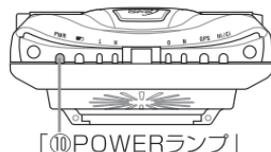
○ムービングセンサーの感度設定方法

「⑳M.SENSスイッチ」の設定の目安

L……振動の多い車(低感度)

M……標準設定位置

H……振動の少ない車(高感度)



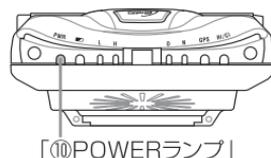
- ①「⑳M.SENSスイッチ」を「M」の位置にし、「⑳POWERスイッチ」を「ON」にしてハイブリッド型L.S.C.を解除します。
- ②お車がアイドリング状態(停止中または低速走行時)の時「⑩POWERランプ」が赤色点滅(または橙色)することを確認してください。緑色点滅の場合には「⑳M.SENSスイッチ」を「L」に設定してください。
- ③アイドリング状態(停止中または低速走行時)から走行状態になった時「⑩POWERランプ」が緑色点滅になることを確認してください。赤色点滅(または橙色)のままの場合は「⑳M.SENSスイッチ」を「H」に設定してください。
- ④「⑳POWERスイッチ」を「ON・LSC」に戻し、ハイブリッド型L.S.C.を設定します。

○ハイブリッド型L.S.C.機能の動作確認方法

ハイブリッド型L.S.C.機能の動作状態は「⑩POWERランプ」で表示します。

お車の走行速度	「⑩POWERランプ」
高速走行時	緑色点滅
低速走行・停止時	赤色点滅(または橙色点滅※1)

※1:オートパワー機能「OFF」の場合は、橙色点滅になります。



基本操作(つづき)

オートパワー機能

本機内蔵のムービングセンサーを利用して、お車が駐車中などの振動の少ない状態が約3分以上続いた時に、自動的に電源を切ります。エンジン始動や発進などで再度連続的な振動を検知すると、自動的に電源が入ります。

※ムービングセンサーの感度設定は、ハイブリッド型L.S.C.機能の「ムービングセンサーの感度設定方法」を参照してください。

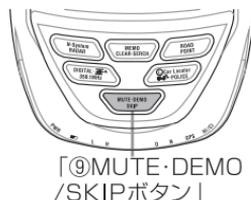
▶ 詳細 ▶ ムービングセンサーの感度設定方法(25ページへ)

基本操作

○オートパワー機能「ON/OFF」設定方法

オートパワー機能の「ON/OFF」設定は、「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」で行います。

1. 「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」を約7秒間、設定のアナウンスをするまで押します



オートパワー機能	ボイスガイド
ON	「"ポーン" 設定しました。」
OFF	「"ポーン" 解除しました。」

※操作を行うたびに「ON」↔「OFF」と切替わります。
※工場出荷時は「ON」に設定されています。

また、「⑩POWERランプ」で設定状態が確認できます。

オートパワー機能	高速走行時(走行時)	低速走行時(停止時)
「ON」	緑色点滅	赤色点滅
「OFF」	緑色点滅	橙色点滅

※()内はGPSサーチ中または測位不可状態になります。



注意 オートパワー機能で電源を入れる場合、エンジン始動やお車の走行など、連続的な振動が必要です。短時間の振動では電源が入らない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



注意 お車の駐車環境などにより振動を検知し、電源が切れない場合があります。使用しない時は、「⑩POWERスイッチ」を「OFF」の位置にしてください。

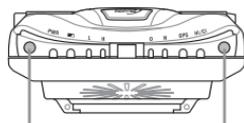
オートパワー機能

基本操作(つづき)

オートトーンダウン&オートディマー機能

レーダー警告が始まってから約30秒後、ステルスアラームが始まってから約10秒後にブザー音の音量が小さくなり、「⑩ウォーニングランプ」の光量を抑えます。

※タイムディマー機能の動作時間内は、オートディマーは動作しません。



「⑩ウォーニングランプ」

基本操作

タイムディマー機能

GPS時刻情報から算出し、日没後の夜間暗い時間帯に本機の各ランプ(「⑩フラッシュモニター」を除く)の光量を抑えます。

※GPS機能を「ON」に設定している場合に限りです。

※タイムディマー機能の動作時間内は、オートディマーは動作しません。

●タイムディマー機能の動作時間帯

時期	時刻
4月～10月	18:00～05:00
11月～3月	17:00～06:00

オートトーンダウン&オートディマー機能

基本操作 (つづき)

GPS機能について

GPS機能を「ON」に設定すると、GPS信号を受信 (GPS測位) し、本機に登録されている取締りポイントや各種速度取締機、Nシステムの位置データを利用した機能などが使用できます。

基本
操作

GPS
機能
につ
いて

- 取締りポイントに対するGPS警告
※取締りポイントの約1キロ圏内で最大3回お知らせします。
- 速度取締機NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービスに対する4ステップGPS警告 (高速道のみ)
※一般道、ユーザーメモリーは3ステップGPS警告になります。
※速度取締機の警告は、距離・設置道路・速度取締機種別・可変式・カメラ位置を識別し、アナウンスします。
- Nシステムに対するGPS警告
※Nシステムの約500m手前でお知らせします。
- トンネル出口速度取締機の警告
- GPS回避ボイス
- GPS警告オートキャンセル機能
- 1キロ圏内サーチ機能
- ハイブリッド型L.S.C.機能
- レーダー波受信オート感度
- ユーザーメモリー機能
- GPS警告ポイント消去機能
- GPS警告対象道路選択機能
- タイムディママー機能



注 トンネル内、高架下、ビル谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPS測位しにくくなりますので、ご注意ください。GPS測位できない場合はDCコードを使用してください。



注 GPS機能を使用するには、GPS測位中に限ります。



注 車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本機のGPS測位ができなくなる場合があります。これは故障や不良ではありません。あらかじめご了承ください。

基本操作(つづき)

GPS機能「ON/OFF」設定方法

GPS機能の「ON/OFF」設定は「⑲POWERスイッチ」と「⑦ROAD/POINTボタン」で行います。

1. 「⑦ROAD/POINTボタン」を押したまま
2. 「⑲POWERスイッチ」を「ON」(または「ON・LSC」)にして電源を入れます。



3. 電源が入り、設定のアナウンスをしたら「⑦ROAD/POINTボタン」を放してください。

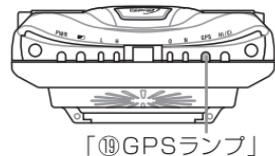
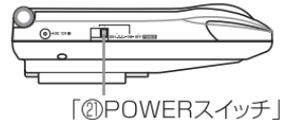
「GPSを設定しました。」→GPS機能ON

「GPSを解除しました。」→GPS機能OFF

- ※操作を行うたびにGPS機能はON↔OFFと切替わります。
- ※工場出荷時は「ON」に設定されています。

また「⑲GPSランプ」「⑫Hi/Ciランプ」で設定状態が確認できます。

「⑲GPSランプ」	「⑫Hi/Ciランプ」	GPS機能
赤色1回点滅・消灯	点滅	「ON」
赤色2回点滅	消灯	「OFF」



基本操作

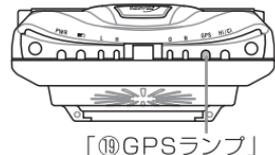
GPS機能「ON/OFF」設定方法

GPS測位状態の確認方法

GPS測位状態の確認は「⑲GPSランプ」で行います。またGPS測位が確定すると「”ピンポン”GPSを測位しました。」とアナウンスします。

※GPSが測位中に限ります。

「⑲GPSランプ」	GPS測位状態
赤色1回点滅	サーチ中、測位不可
消灯	測位中



GPS警告

GPS警告対象道路選択機能

GPS警告を「All(高速道・一般道)/Hi(高速道)/Ci(一般道)」の3種類の対象道路を設定する事ができます。

対象となる道路の目安

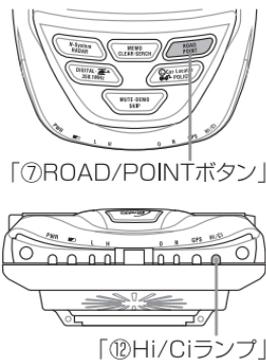
All	全て(高速道・一般道)
Hi	高速道(都市高速を含む)
Ci	一般道(国道、県道等)

○GPS警告対象道路選択機能の設定方法

対象道路の設定は「⑦ROAD/POINTボタン」で行います。

※GPSが測位中に限ります。

1. 「⑦ROAD/POINTボタン」を押すと「ピッ」と鳴り現在の設定状態を「⑩Hi/Ciランプ」で表示します。
2. 「⑩Hi/Ciランプ」で約3秒間の表示中に「⑦ROAD/POINTボタン」を押して設定を切替えます。押すたびにランプの表示が変わり、約3秒後に設定状態をアナウンスします。



「⑩Hi/Ciランプ」	設定状態	ボイスガイド
橙色点灯	All(全て)	「オールモードです」
赤色点灯	Hi(高速道)	「ハイウェイモードです」
緑色点灯	Ci(一般道)	「シティモードです」

※設定が終了すると、「⑩Hi/Ciランプ」は点滅になります。

※工場出荷時は「All」に設定されています。

※ユーザーメモリーは全てのモードで対象となります。

また、GPS警告時「⑩Hi/Ciランプ」で設置道路を表示します。

「⑩Hi/Ciランプ」	設置道路
赤色点滅	Hi(高速道)
緑色点滅	Ci(一般道)

※ユーザーメモリーでは「⑩Hi/Ciランプ」は消灯します。

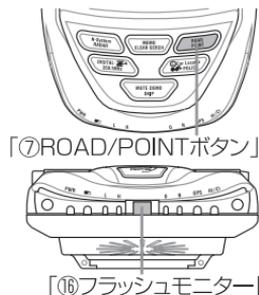
GPS警告(つづき)

取締りポイント

○取締りポイントGPS警告の「ON/OFF」設定方法

取締りポイントGPS警告の「ON/OFF」設定は「⑦ROAD/POINTボタン」で行います。

1. 「⑦ROAD/POINTボタン」を「ピッ、ピッ」と鳴るまで約1秒間押しすと、「⑯フラッシュモニター」で現在の設定を表示します。
2. 「⑯フラッシュモニター」で約3秒間の表示中に「⑦ROAD/POINTボタン」を押して設定を切替えます。押したびにランプの表示が変わり、約3秒後に設定状態をアナウンスします。



GPS警告

取締りポイント

⑯フラッシュモニター	取締りポイント	ボイスガイド
青色点灯	ON	「トドレミアソラシド、設定しました」
赤色点灯	OFF	「トドシラソファミレド、解除しました」

※ボイスガイドの「トドレミアソラシド」「トドシラソファミレド」はメロディになります。
 ※工場出荷時は「ON」に設定されています。

また、「⑫Hi/Ciランプ」で設定状態が確認できます。

⑫Hi/Ciランプ	取締りポイント
2回点滅の繰返し	ON
1回点滅の繰返し	OFF

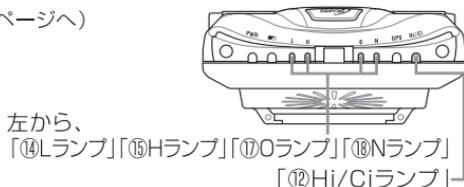
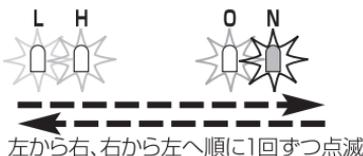
○取締りポイントGPS警告動作

半径約1キロ圏内で、最大3回お知らせします。

「”ポーン” 高速道、取締りポイントに注意してください。」
(または一般道)

「⑫Hi/Ciランプ」※1は設置道路を識別して点滅し、「⑭Lランプ」「⑮Hランプ」「⑰Oランプ」「⑱Nランプ」は左から右、右から左へ順に流れるように点滅をします。
 ※各ランプは、GPS警告中に継続して表示します。

※1 詳細 → GPS警告対象道路選択機能(30ページへ)



GPS警告(つづき)

速度取締機

○速度取締機GPS警告の設定方法

速度取締機GPS警告の設定は、GPS機能がONに設定され、測位している状態で警告を行います。

詳細▶ GPS機能の設定方法(29ページへ)

○速度取締機GPS警告動作

速度取締機の約2キロ手前(一般道は1キロ手前)からお知らせします。

●4ステップGPS警告動作例(高速道、ループコイルの場合)

※■は、速度取締機により異なります。()は速度取締機または走行状況により、アナウンスが変わります。

①「"ポーン" 2キロ先、高速道、ループコイルに注意してください。」
(または2キロ以内) (設置道路) (速度取締機名称)

②「"ポーン" 1キロ先、高速道、ループコイルに注意してください。」
(または1キロ以内) (設置道路) (速度取締機名称)

③「"ポーン" 500m先、高速道、ループコイルに注意してください。」
(または500m以内) (設置道路) (速度取締機名称)

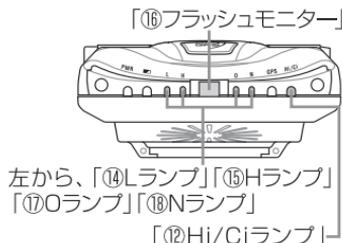
④「"ポーン" カメラは、右側です。」
(左側・正面)

速度取締機を識別して各ランプが点滅し、「⑫Hi/Ciランプ」※1は設置道路を識別して点滅します。また、LHシステム・ループコイルのGPS警告では「⑯フラッシュモニター」も赤色点滅します。

※速度取締機識別ランプは、約2キロ手前のGPS警告時に約10秒間表示し、約1キロ手前からは速度取締機設置位置まで表示します。

※1 詳細▶ GPS警告対象道路選択機能(30ページへ)

速度取締機名称※1	速度取締機識別ランプ
NHシステム	「⑮Hランプ」「⑱Nランプ」
LHシステム	「⑭Lランプ」「⑮Hランプ」
ループコイル	「⑭Lランプ」
Hシステム※2	「⑮Hランプ」
オービス	「⑰Oランプ」
記録ポイント※3	「⑭Lランプ」「⑮Hランプ」 「⑰Oランプ」「⑱Nランプ」

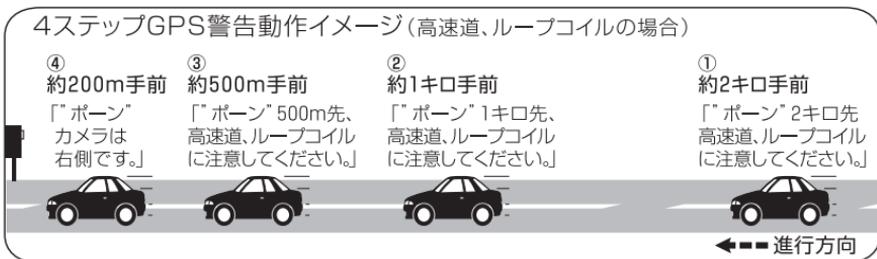


※1:速度取締機名称は、GPS警告時の実際のアナウンスになります。

※2、※3:新Hシステムは「Hシステム」、ユーザーメモリーは「記録ポイント」とアナウンスします。

GPS警告(つづき)

速度取締機(つづき)



○可変式速度取締機識別ボイス

可変式速度取締機を識別して、4ステップGPS警告でアナウンスします。
※可変式に対してのランプ表示はありません。

●GPS警告動作例(高速道、可変式ループコイルの場合)

「ブーン」2キロ先、高速道、可変式ループコイルに注意してください。
(設置距離) (設置道路) (速度取締機名称)

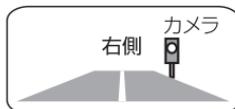
○カメラ位置ボイス

カメラ設置位置を識別して、4ステップGPS警告で速度取締機の約200m手前でアナウンスします。
※カメラ位置に対してのランプ表示はありません。

●GPS警告動作例

カメラ位置が右側の場合	「ブーン」カメラは、右側 ^{※1} です。」 (または左側・正面)
カメラ位置データがない場合	「ブーン」ループコイルに注意してください。」 ※ループコイルの場合。
ユーザーメモリーの場合	「ブーン」記録ポイントに注意してください。」

※1:カメラの設置位置によって変わります。



GPS警告(つづき)

トンネル出口速度取締機の警告

トンネル出口付近に速度取締機が設置してある場合には、トンネルの入口から約1キロ手前のお知らせします。

※GPSの測位状態によっては、お知らせできない場合があります。ご注意ください。

●GPS警告動作例(高速道、LHシステムの場合)

「"ポーン"トンネル出口、高速道、LHシステムに注意してください。」
(設置道路) (速度取締機名称)

速度取締機を識別して各ランプが点滅し、「Hi/Ciランプ」※1は設置道路を識別して点滅します。

※各ランプは、GPS警告時に約10秒間表示します。

※1  詳細 → GPS警告対象道路選択機能(30ページへ)



GPS回避ボイス

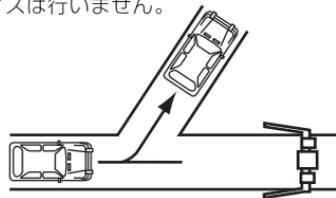
4ステップGPS警告中に進行方向が変わった場合には、GPS回避ボイスでお知らせします。

※GPSの測位状態によっては、お知らせできない場合があります。ご注意ください。

※ポイントから約400m手前での回避に対しては回避ボイスは行いません。

●GPS警告動作

「"ポーン"取締機を回避しました。」



GPS警告オートキャンセル機能

4ステップGPS警告中に渋滞などで警告開始から一定時間を超えた場合、自動的にGPS警告を中止します。

※ランプ表示はありません。

●GPS警告動作

「"ポーン"解除しました。注意してください。」



注 GPS警告オートキャンセル機能が働いた場合、キャンセルされたポイントに対してのGPS警告はありません。ご注意ください。

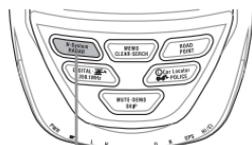
GPS警告(つづき)

Nシステム

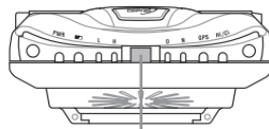
○NシステムGPS警告の「ON/OFF」設定方法

NシステムGPS警告の「ON/OFF」設定は、「④N/RADARボタン」で行います。

1. 「④N/RADARボタン」を押すと「ピッ」と鳴り、現在の設定状態を「⑯フラッシュモニター」で表示します。
2. 「⑯フラッシュモニター」で約3秒間の表示中に「④N/RADARボタン」を押して設定を切替えます。押すたびにランプの表示が変わり、約3秒後に設定状態をアナウンスします。



「④N/RADARボタン」



「⑯フラッシュモニター」

「⑯フラッシュモニター」	Nシステム	ボイスガイド
青色点灯	ON	「Nシステムを設定しました」
赤色点灯	OFF	「Nシステムを解除しました」

※工場出荷時は「ON」に設定されています。

○NシステムGPS警告動作

Nシステム設置位置の約500m手前でお知らせします。

「”ポーン” 500m以内、高速道、Nシステムに注意してください。」
(または一般道)

「⑫Hi/Ciランプ」*1は設置道路を識別して点滅し、「⑩Nランプ」が点滅をします。
※各ランプは、GPS警告時に約10秒間表示します。

*1 詳細 → GPS警告対象道路選択機能(30ページへ)



「⑩Nランプ」

「⑫Hi/Ciランプ」

レーダー波受信

レーダー波を受信して、速度取締機などへの接近をお知らせします。

○レーダー波受信方法

本機の電源が入るとレーダー波受信可能になります。

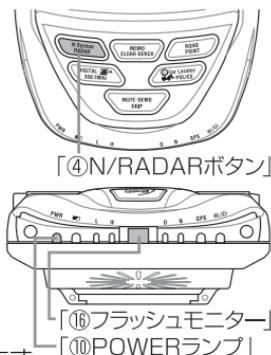
○レーダー波受信感度切替え方法

レーダー波受信感度を、感度の高い順に「エクストラ」、「ウルトラ」、「スーパー」の3段階に設定できます。また、3段階の感度をお車の走行速度に合わせて自動で切替える「オート」を選択する事ができます。

レーダー波受信の感度設定方法は、「④N/RADARボタン」で行います。

1. 「④N/RADARボタン」を「ピッ、ピッ」と鳴るまで約1秒間押しすと、「⑩フラッシュモニター」で現在の設定を表示します（約3秒間）。
2. 「⑩フラッシュモニター」で約3秒間の表示中に「④N/RADARボタン」を押して設定を切替えます。押すたびにランプの表示が変わり、約3秒後に設定状態をアナウンスします。

また待機状態に「⑩POWERランプ」で設定を確認できます。



⑩フラッシュモニター	設定状態	ボイスガイド	⑩POWERランプ
白色点灯	オート	「♪ドミン、設定しました。」	《「オート」の動作》参照
青色点灯	エクストラ	「エクストラモードです。」	3回点滅
緑色点灯	ウルトラ	「ウルトラモードです。」	2回点滅
赤色点灯	スーパー	「スーパーモードです。」	1回点滅

※「オート」のボイスガイド「♪ドミン」はメロディになります。

※工場出荷時は「オート」に設定されています。

《「オート」の動作》

お車の走行速度	自動切替え	⑩POWERランプ
約50km/h以上	エクストラ	3回点滅
約50～30km/h	ウルトラ	2回点滅
約30km/h未満	スーパー	1回点滅

※「オート」の動作は、GPSが測位中に限ります。

※GPS機能「OFF」や、GPS測位できない状態では、「エクストラ」の感度の固定になります。

受信機 (つづき)

レーダー波受信 (つづき)

○レーダー警告

オービス、新Hシステム、ネズミ捕り(レーダー式)、ステルスなどのレーダー波を受信し、レーダー波の強さに応じてブザー音と「⑩ウォーニングランプ」が変化してお知らせします。

※レーダー警告は、鳴りはじめてから約30秒後に音とランプの光量を抑えます。

詳細▶ オートトーンダウン&オートディマー機能(27ページへ)



●レーダー警告動作

”ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッピッピピピピ…”

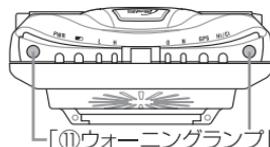
レーダー波が弱い  レーダー波が強い

○ステルスアラーム

瞬時に強いレーダー波を受信すると、それをステルス波として識別し専用のブザー音と「⑩ウォーニングランプ」が点滅し、お知らせします。

※ステルスアラームは、鳴りはじめてから約10秒後に音とランプの光量を抑えます。

詳細▶ オートトーンダウン&オートディマー機能(27ページへ)



●ステルスアラーム動作

「ステルスを受信しました。」ピコピコピコピコピコ……”



ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもってお知らせできません。ステルスアラームが鳴った時にはすでに計測されていることがありますので、くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。

受信機 (つづき)

ヘリテレ無線・デジタル無線

○ヘリテレ無線/デジタル無線受信「ON/OFF」設定方法

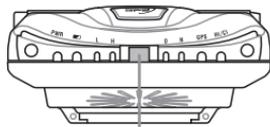
ヘリテレ無線・デジタル無線の受信「ON/OFF」設定方法は「⑤DIGITAL・HELI/350.1MHzボタン」で行います。

1. 「⑤DIGITAL・HELI/350.1MHzボタン」を押すと「ピッ」と鳴り「⑩フラッシュモニター」で現在の設定を表示します。



「⑤DIGITAL・HELI/350.1MHzボタン」

2. 「⑩フラッシュモニター」で約3秒間の表示中に「⑤DIGITAL・HELI/350.1MHzボタン」を押して設定を切替えます。押すたびにランプの表示が変わり、約3秒後に設定状態をアナウンスします。



「⑩フラッシュモニター」

「⑩フラッシュモニター」	デジタル	ヘリテレ	ボイスガイド
白色点灯	ON	ON	「デジタル無線を”ピンポーン”設定しました。」
青色点灯	ON	OFF	「デジタル無線を設定しました。」
緑色点灯	OFF	ON	「”ピンポーン”設定しました。」
赤色点灯	OFF	OFF	「解除しました。」

※工場出荷時はヘリテレ無線「ON」、デジタル無線「ON」に設定されています。

○ヘリテレ無線/デジタル無線受信の感度切替え方法

感度切替え方法は、「②POWERスイッチ」と「⑤DIGITAL・HELI/350.1MHzボタン」で行います。

1. 「⑤DIGITAL・HELI/350.1MHzボタン」を押したまま
2. 「②POWERスイッチ」を「ON」(または「ON・LSC」)にします。



「⑤DIGITAL・HELI/350.1MHzボタン」



「②POWERスイッチ」

3. 電源が入ると、設定をアナウンスします。

受信感度	ボイスガイド
Hi	「”ピンポーン”解除しました。」
Lo	「”ピンポーン”設定しました。」

※操作を行うたびに「Hi」↔「Lo」と切替わります。
 ※工場出荷時は「Hi」に設定されています。
 ※ヘリテレ無線とデジタル無線の受信感度は、一括設定になります。単独での設定はできません。

受信機(つづき)

ヘリテレ無線・デジタル無線(つづき)

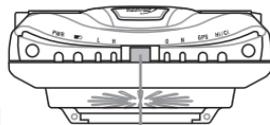
○ヘリテレ無線受信動作

ヘリテレ無線を受信すると、「⑩フラッシュモニター」が橙色点滅し受信した音声聞こえます。

※無線がデジタル通信の場合、音声を聞くことはできません。

●受信動作

「…<音声>…」 「”ピンポーン”受信しました。」



「⑩フラッシュモニター」

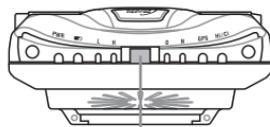
○デジタル無線受信動作

デジタル無線を受信すると、「⑩フラッシュモニター」が青色点滅しアナウンスしてお知らせします。

※デジタル通信のため、音声を聞くことはできません。

●受信動作

「”ピンポーン”デジタル無線を受信しました。」



「⑩フラッシュモニター」

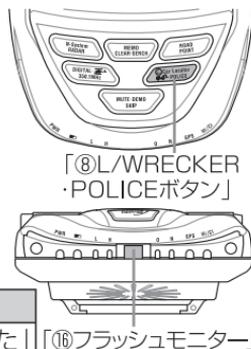
受信機 (つづき)

カーロケーター受信

○カーロケーター受信「ON/OFF」設定・感度切替え設定方法

カーロケーター受信「ON/OFF」設定・感度切替え設定は、「⑧L/WRECKER・POLICEボタン」で行います。

1. 「⑧L/WRECKER・POLICEボタン」を押すと「ピッ」と鳴り「⑯フラッシュモニター」で現在の設定を表示します (約3秒間)。
2. 「⑯フラッシュモニター」で約3秒間の表示中に「⑧L/WRECKER・POLICEボタン」を押して設定を切替えます。押すたびにランプの表示が変わり、約3秒後に設定状態をアナウンスします。



⑯フラッシュモニター	カーロケーター	ボイスガイド
青色点灯	ON (感度「Hi」)	「カーロケを設定しました」
緑色点灯	ON (感度「Lo」)	「カーロケを設定しました」
赤色点灯	OFF	「カーロケを解除しました」

※感度は「Hi」で半径約1キロ以内、「Lo」半径約500m以内の受信範囲になります。
※工場出荷時は「ON (感度「Hi」)」に設定されています。

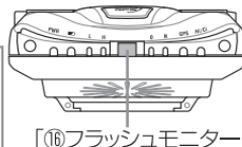
○カーロケーターAI受信動作

カーロケーターを受信すると、「⑯フラッシュモニター」が青緑色点滅しアナウンスしてお知らせします。またAI機能により、一定時間内に再度受信した場合には緊急車両が近づいているか遠ざかっているかをお知らせします。

●受信動作

1回目の受信

「”ピンポン” カーロケを受信しました。
1キロ (500m) 以内、緊急車両に注意してください。」
※感度「Lo」に設定の場合は、「1キロ」のアナウンスはありません。



2回目の受信

近づいている
「”ピンポン、ピンポン” 緊急車両に注意してください。」
遠ざかっている
「”ピンポン、ピンポン” カーロケを受信しました。」



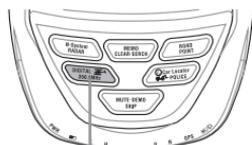
注 意 カーロケーターの電波を受信した時は、周囲に注意し、緊急車両が近くを走行していた場合には、走行を妨害することなく速やかに道をお譲りください。

350.1MHz無線

○350.1MHz無線受信「ON/OFF」設定方法

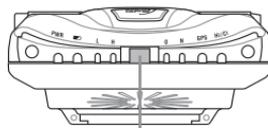
350.1MHz無線受信「ON/OFF」設定は、「⑤DIGITAL・HELI/350.1MHzボタン」で行います。

1. 「⑤DIGITAL・HELI/350.1MHzボタン」を「ピッ、ピッ」と鳴るまで約1秒間押すと、「⑩フラッシュモニター」で現在の設定を表示します(約3秒間)。



「⑤DIGITAL・HELI/350.1MHzボタン」

2. 「⑩フラッシュモニター」で約3秒間の表示中に「⑤DIGITAL・HELI/350.1MHzボタン」を押して設定を切替えます。押すたびにランプの表示が変わり約3秒後に設定状態をアナウンスします。



「⑩フラッシュモニター」

「⑩フラッシュモニター」	350.1MHz無線	ボイスガイド
青色点灯	ON	「350.1メガを設定しました。」
赤色点灯	OFF	「350.1メガを解除しました。」

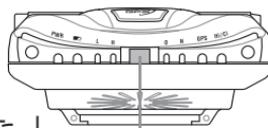
※工場出荷時は「ON」に設定されています。

○350.1MHz無線受信動作

350.1MHz無線を受信すると、「⑩フラッシュモニター」が紫色点滅し受信した音声聞こえます。

●受信動作

「…<音声>…」 「ピポポ」 350.1メガを受信しました。」



「⑩フラッシュモニター」

受信機(つづき)

レッカー無線・署活系無線

○レッカー無線/署活系無線受信「ON/OFF」設定方法



本機搭載のレッカー無線は、主に東京都内、兵庫県内で使用されているチャンネルを含む一部の簡易業務用無線です。

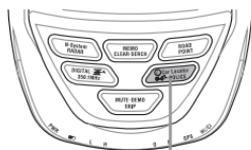


必ずDCコードを使用(DC12V入力)して受信してください。
※DC12Vの入力がない場合、レッカー無線・署活系無線を受信する事ができません。

レッカー無線・署活系無線の受信「ON/OFF」設定方法は、「⑧L/WRECKER・POLICEボタン」で行います。

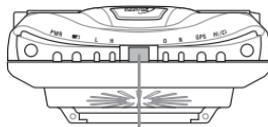
※設定は、DCコードを使用しない状態で行えます。

1. 「⑧L/WRECKER・POLICEボタン」を「ピッ、ピッ」と鳴るまで約1秒間押しすと、「⑩フラッシュモニター」で現在の設定を表示します(約3秒間)。



「⑧L/WRECKER・POLICEボタン」

2. 「⑩フラッシュモニター」で約3秒間の表示中に「⑧L/WRECKER・POLICEボタン」を押して設定を切替えます。押すたびにランプの表示が変わり、約3秒後に設定状態をアナウンスします。



「⑩フラッシュモニター」

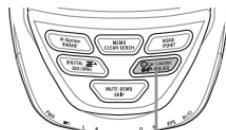
「⑩フラッシュモニター」	レッカー	署活	ボイスガイド
白色点灯	ON	ON	「"ポーン"、ピンポーンピンポーン、設定しました。」
青色点灯	ON	OFF	「"ポーン"、設定しました。」
緑色点灯	OFF	ON	「"ピンポーンピンポーン"、設定しました。」
赤色点灯	OFF	OFF	「解除しました。」

※工場出荷時はレッカー車無線「OFF」、署活系無線「OFF」に設定されています。

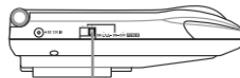
○レッカー無線/署活系無線受信の感度切替え方法

感度切替え方法は、「②POWERスイッチ」と「⑧L/WRECKER・POLICEボタン」で行います。

1. 「⑧L/WRECKER・POLICEボタン」を押したまま
2. 「②POWERスイッチ」を「ON」(または「ON・LSC」)にします。



「⑧L/WRECKER・POLICEボタン」



「②POWERスイッチ」

受信機(つづき)

レッカー無線・署活系無線(つづき)

3.電源が入ると、設定をアナウンスします。

受信感度	ボイスガイド
Hi	「"ピンポーン" 解除しました。」
Lo	「"ピンポーン" 設定しました。」

※操作を行うたびに「Hi」↔「Lo」と切替わります。

※工場出荷時は「Hi」に設定されています。

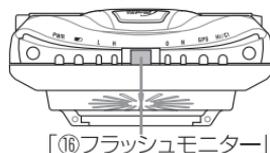
※レッカー無線と署活系無線の受信感度は一括設定になります。単独での設定はできません。

○レッカー無線受信動作

レッカー無線を受信すると、「⑩フラッシュモニター」が緑色点滅し、受信した音声聞こえます。

●受信動作

「…<音声>…」 「"ポーン" 受信しました。」



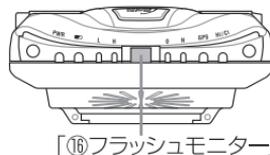
○署活系無線受信動作

署活系無線を受信すると、「⑩フラッシュモニター」が白色点滅しアナウンスしてお知らせします。

※デジタル通信のため、音声を聞くことはできません。

●受信動作

「"ピンポーン、ピンポーン" デジタル無線を受信しました。」



受信機

レッカー無線・署活系無線



注 レッカー無線は、簡易業務用無線になりますので、その他業種の無線も受信します。あらかじめご了承ください。

受信機 (つづき)

バリケードアラーム

短時間で複数の警察関係無線を受信すると、検問等が行われている可能性が高いと判断し、専用のアラームでお知らせします。

※DCコード使用時(DC12V入力時)のみ受信します。DC12Vの入力がない場合、バリケードアラームでお知らせできません。

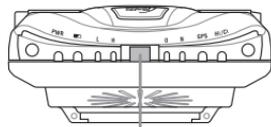
○バリケードアラーム受信動作

⚠ 必ずDCコードを使用 (DC12V入力)して受信してください。
※DC12Vの入力がない場合、レッカー無線・署活系無線を受信する事ができません。

バリケードアラームは、「⑩フラッシュモニター」がいろいろな色に変化し、アナウンスでお知らせします。

●受信動作

「”ピンポーン、ピンポーン、ピンポーン”
注意してください。」



「⑩フラッシュモニター」

ユーザーメモリー機能

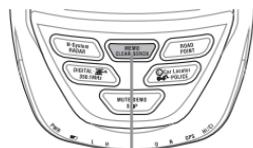
新規にお知らせしたいポイントを、最大30箇所まで、記録することができます。
※GPSが測位中に限ります。

○ユーザーメモリーの記録方法

ユーザーメモリーの記録方法は「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」で行います。

GPS測位中に操作を行います。

1. 「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」を押すと「ピッ」と鳴り、記録を始めます。
 2. ポイントが記録されると『記録しました』とアナウンスします。
※アナウンスされるまで時間がかかる場合があります。
- ※「GPSを測位できません。」とアナウンスした場合は、GPS測位していない、または記録できなかった事をお知らせします。

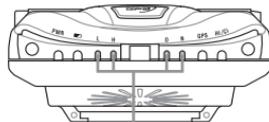


「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」

●ユーザーメモリーのGPS警告動作例（約1キロ手前の3ステップGPS警告）

「ブーン」1キロ先、記録ポイントに注意してください。
(設置距離)

「⑭Lランプ」「⑮Hランプ」「⑰Oランプ」「⑱Nランプ」が同時に点滅をします。
※各ランプは、GPS警告中に継続して表示します。



左から、「⑭Lランプ」「⑮Hランプ」「⑰Oランプ」「⑱Nランプ」

※ユーザーメモリーGPS警告動作のお知らせを行うには、一度記録したポイントから1500m以上離れるか、電源を入れ直す必要があります。(オートパワー機能の動作でも可)



注意 ユーザーメモリーの記録ポイントは、GPS測位が確定した地点を記録します。走行状況によって、操作したポイントから大きくずれる場合がありますのでご注意ください。



注意 ユーザーメモリーの記録ポイントは、進行方向を識別して記録されます。記録した時の反対方向からの走行時には警告しませんので、ご注意ください。



注意 記録箇所が記録可能数（最大30箇所）を超えてしまった場合には、記録箇所の中で、使用頻度の低いポイントを上書きし、記録します。

便利機能(つづき)

ユーザーメモリー機能(つづき)

○ユーザーメモリーの消去方法

●個別消去

ユーザーメモリーの個別消去は「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」で行います。

消去したいユーザーメモリーの警告中に操作を行います。



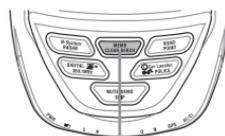
「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」

1. 「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」を押すと「ピッ」と鳴り、『"ポーン" 消去しました。』とアナウンスするまで、約1秒間押します。

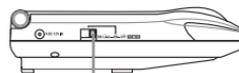
●全消去

ユーザーメモリーの全消去は「②POWERスイッチ」と「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」で行います。

1. 「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」を押したまま
2. 「②POWERスイッチ」を「ON」(または「ON・LSC」)にします。



「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」



「②POWERスイッチ」

3. 約10秒間『記録ポイントに注意してください。』を繰り返しアナウンスして、ユーザーメモリー全消去モードに入ったことをお知らせします。
4. 再度、「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」を『消去しました。』とアナウンスするまで(約1秒間)押します。
※4.の操作を行う事で、全消去します。操作を行わなかった場合、待機状態に戻ります。



注意

ユーザーメモリーは、一度消去するとデータを復元させる事はできません。消去操作は十分に注意して行ってください。

便利機能 (つづき)

GPS警告ポイント消去機能

GPS警告が不要な場合、本機に登録されているGPS警告のポイントを消去することができます。(取締りポイント5箇所、速度取締機5箇所、Nシステム12箇所)

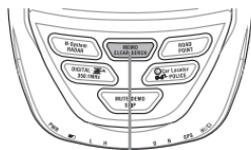
※GPSが測位中に限ります。

○GPS警告ポイント消去方法

GPS警告ポイント消去方法は「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」で行います。

※ユーザーメモリーの消去方法と同じ操作になります。

消去したいポイントのGPS警告中に操作を行います。



1. 「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」を押すと「ピッ」と鳴り、「" ポーン" 消去しました。」とアナウンスするまで約1秒間押します。

「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」

※GPS測位していない場合「GPSを測位できません。」とアナウンスし、消去はできません。

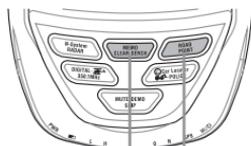
※「" ポーン" 記録できません。」とアナウンスした場合は、消去できなかった事をお知らせします。

○GPS警告ポイント消去の全復帰方法

GPS警告ポイント消去の全復帰方法は「②POWERスイッチ」と「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」「⑦ROAD/POINTボタン」で行います。

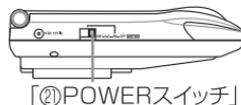
※GPS警告ポイントの復帰は、全復帰になります。単独での復帰はできません。

1. 「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」、「⑦ROAD/POINTボタン」を押したまま



2. 「②POWERスイッチ」を「ON」(または「ON・LSC」)にします。

「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」
「⑦ROAD/POINTボタン」



3. 約10秒間『オービスに、Nシステムに、取締りポイントに注意してください。』を繰り返してアナウンスして、全復帰モードに入ったことをお知らせします。

4. 再度、「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」(または「⑦ROAD/POINTボタン」)を『消去しました。』とアナウンスするまで(約1秒間)押します。

※4.の操作を行う事で、全復帰します。操作を行わなかった場合、待機状態に戻ります。

便利機能(つづき)

1キロ圏内サーチ機能

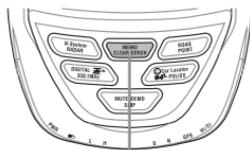
現在地から半径1キロ圏内に、GPS警告ポイント(取締りポイント、Nシステムは除く)があるかどうか検索することができます。

※GPSが測位中に限ります。

○1キロ圏内サーチの方法

サーチ方法は「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」で行います。

1. 「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」を押すと「ピッ」と鳴り、『"ボーン"サーチします。』とアナウンスするまで約1秒間押します。



「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」

2. サーチ結果をアナウンスします。

※アナウンスされるまで時間がかかる場合があります。

※現在地から最も近いポイントを一箇所のみ、お知らせします。

●サーチ結果

ポイントがある場合	「1キロ(500m)以内、高速道、LHシステムに注意してください。」 (設置距離) (設置道路) (速度取締機名称) ※1キロ圏内、高速道、LHシステムの場合。
ポイントがない場合	「ピピッ」
GPS測位ができない場合	「GPSを測位できません。」

便利機能(つづき)

タイムスキップ機能・スキップメモリー機能

ヘリテレ無線、デジタル無線、レッカー無線、署活系無線のうち、不要な特定のチャンネルを記録し、スキップ(受信拒否)します。

●タイムスキップ

記録したチャンネルを一定時間(約10分間)スキップします。約10分後には自動で復帰します。
※タイムスキップ機能は最大5チャンネルまで記録できます。

●スキップメモリー

記録したチャンネルを消去操作しない限りスキップし続けます。
※消去は、スキップメモリー全消去になります。単独での消去はできません。

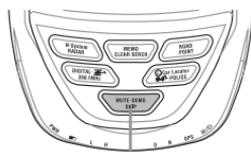
▶ 詳細 ▶ スキップメモリーの消去方法(51ページへ)

便利機能

○タイムスキップ/スキップメモリーの記録方法

タイムスキップ、スキップメモリーの記録は「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」で行います。

受信中に操作を行います。

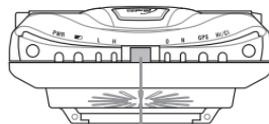


「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」

1. 「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」を押すと「ピッ」と鳴り、「⑯フラッシュモニター」が緑色点灯するまで約1秒間押します。
2. 「⑯フラッシュモニター」の表示中に再度「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」を押し、設定内容を選択します。

「⑯フラッシュモニター」	設定内容	ボイスガイド
緑色点灯	タイムスキップ	「"ピンポーン"記録しました。」
赤色点灯	スキップメモリー	「"ピンポーン"消去しました。」

3. 「⑯フラッシュモニター」が設定内容を表示中に、再度「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」を約1秒間押し設定します。設定をボイスガイドでお知らせします。
※3.の操作を行う事で、記録ができます。操作を行わなかった場合、待機状態に戻ります。



「⑯フラッシュモニター」



注意 タイムスキップで記録可能数(最大5チャンネル)を越えてしまった場合、「"ピンポーン"記録できません。」とアナウンスし、記録はできません。

便利機能 (つづき)

タイムスキップ機能・スキップメモリー機能 (つづき)

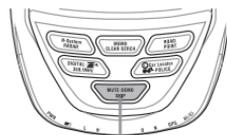
○スキップメモリーの消去方法

●全消去

スキップメモリーの全消去は「②POWERスイッチ」と「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」で行います。

※スキップメモリーの消去は、全消去になります。単独での消去はできません。

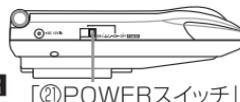
1. 「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」を押しながら
2. 「②POWERスイッチ」を「ON」(または「ON・LSC」)にします。



「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」



ON・L.S.C. - ON - OFF POWER



「②POWERスイッチ」

3. 約10秒間『“ピンポン” 注意してください。』を繰り返しアナウンスして、スキップメモリー全消去モードに入ったことをお知らせします。
4. 再度、「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」を「消去しました。」とアナウンスするまで(約1秒間)押します。
※4.の操作を行う事で、全消去します。操作を行わなかった場合、待機状態に戻ります。

便利機能

スタ
キ
ム
ブ
ス
メ
キ
モ
リ
ー
機
能
・



注
意

本機の内蔵受信機は、車載の電装機器(オーディオ・ナビ・ETC、無線機等)や、電源ノイズの影響により、特定チャンネルを受信し続ける場合があります。ヘリテル無線、デジタル無線、レッカー無線、署活系無線では、タイムスキップ機能、スキップメモリー機能を使用する事で受信し続けるチャンネルを受信拒否する事ができます。

便利機能 (つづき)

デモンストレーション機能

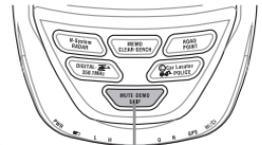
本機の警告動作を、デモンストレーションさせる事ができます。

○デモンストレーション方法

デモンストレーションは「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」で行います。

警告がされていない状態で操作を行います。

1. 「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」を押します。



以下の順番でデモンストレーションを行います。 「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」

- ① GPSを測位のアナウンス
- ② 取締りポイントの警告 (高速道)
- ③ 速度取締機の3ステップGPS警告 (一般道、可変式ループコイル、カメラ位置右)
- ④ GPS回避ボイス
- ⑤ Nシステムの警告 (一般道)
- ⑥ カーロケーター受信の警告 (感度: 「Hi」)
- ⑦ 350.1MHz無線受信の警告
- ⑧ デジタル無線受信の警告
- ⑨ ステルスアラーム
- ⑩ レーダー警告

※デモンストレーションは、アナウンス・ブザー音・アラーム・ランプの点灯で各種警告動作を行います。

※デモンストレーション中は、GPS警告やレーダー波受信などによる警告を行いません。

便利機能 (つづき)

DC動作モード機能

DCコードを使用して本機をお使いの場合、DC12Vの入力がなくなると自動的に電源を「OFF」にします。DC12Vの入力があると自動的に電源を「ON」にします。

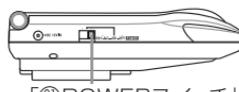
○DC動作モードの「ON/OFF」設定方法

DC動作モードの「ON/OFF」設定方法は「② POWERスイッチ」と「④N/RADARボタン」で行います。

1. 「④N/RADARボタン」を押したまま
2. 「②POWERスイッチ」を「ON」(または「ON・LSC」)にします。



「④N/RADARボタン」



「②POWERスイッチ」

3. 電源が入ると、設定をアナウンスします。

DC動作モード機能	ボイスガイド
ON	「"ポーン" 設定しました。」
OFF	「"ポーン" 解除しました。」

※操作を行うたびに「ON」↔「OFF」と切替わります。

※工場出荷時は「OFF」に設定されています。

⚠ ご注意ください

DC動作モードが「ON」に設定の場合、DC12Vの入力があるまで本機は動作しません。ご注意ください。

※お車のキーが「ACC」や「ON」以外など、DC12Vの入力がない場合は本機の電源は入りません。

<DC動作モードの確認方法>

DC12Vが入力されていない状態で「② POWERスイッチ」を「ON」にします。本機より「ピピピピ」と鳴り、各ランプが点灯しますが、直後に電源が「OFF」になります。この場合、DC動作モードが「ON」に設定されています。

便利機能(つづき)

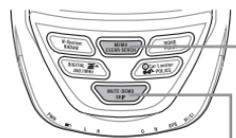
本機の全リセット

この操作を行うと、各種設定や記録内容は全て消去され、工場出荷状態に戻ります。
※記録内容にはユーザーメモリー、GPS警告ポイント消去、スキップメモリーの各記録データも含まれます。

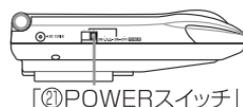
○リセット方法

リセット方法は「②POWERスイッチ」と「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」で行います。

1. 「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」
「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」を押したまま
2. 「②POWERスイッチ」を「ON」(または「ON・LSC」)にして電源を入れます。



「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」
「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」



「②POWERスイッチ」

3. 電源が入ると、約10秒間『危険です。』を繰り返しアナウンスします。この間に再度、「⑥MEMO/CLEAR・SEARCHボタン」(または「⑨MUTE・DEMO/SKIPボタン」)を『消去しました。』とアナウンスするまで約1秒間押します。

※3.の操作を行う事で、全消去します。操作を行わなかった場合、消去されず待機状態に戻ります。

工場出荷状態

GPS機能ON	レーダー波受信感度オート
GPS警告対象道路選択機能	..All	ヘリテレ無線受信感度Hi
取締りポイントGPS警告ON	デジタル無線受信感度Hi
NシステムGPS警告ON	カーロケーター受信感度Hi
ヘリテレ無線受信ON	レッカー無線受信感度Hi
デジタル無線受信ON	署活系無線受信感度Hi
カーロケーター受信ON	DC動作モード機能OFF
350.1MHz無線受信ON	その他記録データ消去
レッカー無線受信OFF		
署活系無線受信OFF		



注意 全リセットを行うと、各設定や記録内容を復帰させる事はできません。リセット操作は十分に注意して行ってください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	チェック内容	参照ページ
電源が入らない	オートパワー機能は正しく設定されていますか。	26
コードレスで使用	内蔵バッテリーの残量はありますか。	21
DCコード使用状態	DC12Vは入力されていますか。 DC動作モードに設定していますか。	20,21 53
電源が切れない	オートパワー機能は「ON」になっていますか。 ムービングセンサーは正しく設定されていますか。	26 25
充電されない		
コードレスで使用	ソーラーパネルに太陽光が適切に当たっていますか。	18
DCコード使用状態	DC12Vは入力されていますか。	20,21
GPS信号を受信しない	GPS機能は「ON」になっていますか。 GPS信号は受信可能ですか。 DCコードを使用して、充電しながらGPS測位してください。	29 18,29 20,28
コードレスで使用	内蔵バッテリーの残量はありますか。	21
速度取締機のGPS警告をしない	GPS機能は「ON」になっていますか。 GPS信号は受信可能ですか。 新設の速度取締機の可能性があります。 GPS警告対象道路の設定は正しいですか。 GPS警告ポイント消去機能が設定されていませんか。	29 18,29 45,61 30 47
取締りポイントのGPS警告をしない	取締りポイントのGPS警告は「ON」に設定されていますか。 本機に登録されていないポイントの可能性があります。	31 45,63

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら(つづき)

故障かな?と思ったら(つづき)

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	チェック内容	参照ページ
NシステムのGPS警告をしない	NシステムのGPS警告は「ON」になっていますか。 新設のNシステムの可能性があります。	35 45,61
何も無いのにレーダー警告音が鳴る	速度取締機と同じ電波を他の機器でも使用されています。その場合、レーダー警告を出す場合があります。 これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。 同じ電波を使用している機器例 ・自動ドアの一部 ・車両通過計測器 ・NTTの通信回線の一部 ・気象用、航空機用などのレーダーの一部	
ユーザーメモリー記録ポイントをお知らせしない	ポイントは記録されましたか。 反対方向などから走行していませんか。	45
ハイブリッド型L.S.C.機能が働かない	ハイブリッド型L.S.C.機能は「ON」になっていますか。 ムービングセンサーの設定は正しいですか。	24 25
ヘリテレ無線を受信しない	受信設定が「OFF」になっていませんか。 ヘリテレ無線はヘリコプターから常に電波を出しているわけではありません。 ヘリテレ無線を搭載していない可能性があります。	38 5,8 5,8
デジタル無線を受信しない	受信設定が「OFF」になっていませんか。 デジタル無線の電波は常に発信されては いません。	38 5,8

故障かな?と思ったら(つづき)

故障かな?と思ったら(つづき)

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	チェック内容	参照ページ
カーロケーターを受信しない	受信設定が「OFF」になっていませんか。	40
	カーロケーターシステムは車両から常に電波を出しているわけではありません。	6,9
	カーロケーターシステムを搭載していない車両の可能性があります。	6,9
350.1MHz無線を受信しない	受信設定が「OFF」になっていませんか。 350.1MHz無線は常に使用されているわけではありません。	41 6,9
350.1MHz無線の音声が聞こえない	デジタル通信の可能性があります。	6,9
	デジタル通信の場合、音声を聞く事はできません。	6,9
	350.1MHz無線の受信電波が弱いと、音声が聞こえない場合があります。	6,9
レッカー無線を受信しない	DC12Vは入力されていますか。	20,42
	受信設定が「OFF」になっていませんか。	42
	本機搭載のレッカー無線チャンネルは、主に東京都、兵庫県で使用されているものです。	7,9
	レッカー無線を搭載していない車両の可能性があります。	7,9
レッカー無線以外の業務無線を受信する	レッカー無線は簡易業務無線のため、その他業種の無線も受信します。	7,9,50
署活系無線を受信しない	DC12Vは入力されていますか。	20,42
	受信設定が「OFF」になっていませんか。	42
	署活系無線の電波は常に発信されてはいません。	7,9
ヘリテレ無線、デジタル無線、レッカー無線、署活系無線などを受信したままになる。	お車からの影響や、周囲の状況により受信したままになる場合があります。	
	－対処方法－	
	・タイムスキップ機能	50
	・スキップメモリー機能	50
	・各受信機の感度調整	38,42

故障かな?と思ったら

GPS障害について

重要！ 車載TVを取付けていらっしゃる方へ

車内でTV(56ch)にチャンネルを設定していると、本機がGPS信号を受信できなくなる場合があります。

資料 56chを使用している主な放送局

エリア地区	放送局	エリア地区	放送局
北海道 歌志内 静内	NHK総合 NHK総合	長野 岡谷川岸 小海・八千穂	TSB SBC
青森 むつ 今別	ABA ATV	富山 福光 愛知 豊橋	KNB THK
秋田 角館	AAB	岐阜 (関)	(THK)
山形 米沢	TUY	神岡	CBC
福島 白河 柳津・三島	FCT FTV	坂下	NBN
東京 新島	TBS	三重 名張 (北勢)	NBN (THK)
神奈川 横浜 小田原	TBS TBS	志摩	THK
千葉 館山 (佐原)	TBS (TBS)	静岡 (島田)	(NHK総合)
栃木 今市	TBS	本川根	SUT
茨城 日立	TBS	大阪 柏原 岬	ABC ABC
群馬 前橋・伊香保	TBS	京都 京都山科 福知山	ABC KBS
山梨 上野原 山中湖	YBS YBS	兵庫 姫路 城崎	SUN SUN
新潟 相川 相川高干	TeNY BSN	赤穂 西脇 和田山	SUN SUN SUN

※各局の中継局として56chを使用している場合があります。

資料(つづき)

GPS障害について(つづき)

TVの56チャンネルの受信周波数が、GPS衛星通信に影響を与えるため、TVからGPS受信部へ妨害電波が出ている形になってしまいます。GPS衛星の通信方式では他の電波からの影響を受けないように工夫されていますが、この場合は影響を受けてしまい、測位できない状態になってしまいます。

本機と車載TVを併用される場合、十分にお気を付けてください。

エリア地区	放送局	エリア地区	放送局
滋賀 彦根	BBC	徳島 山城	JRT
和歌山 田辺 南海 由良	WTV	高知 高知神田	NHK総合
	WTV	福岡 北九州門司	RKB
	WTV	大分 玖珠 国東	OBS NHK総合
広島 広島五日市 広島高陽 備後府中 大崎・竹原 千代田	NHK総合		佐賀 武雄
	RCC	長崎 長崎滑石 郷ノ浦 島原	KTN NHK教育 NHK教育
	NHK総合		
	NHK総合		
岡山 岡山備中高松 津山 (倉敷児島) (井原)	RSK	鹿児島 徳之島 西之表 串木野 末吉 (指宿)	KYT KTS NHK教育 NHK教育 (KKB)
	TSC		
	(KSB)		
	(KSB)		
鳥取 倉吉	BSS	沖縄 南大東 多良間 石川	RBC OTV OTV
	愛媛 北条 宇和		EBC
NHK教育			
香川 仁尾 観音寺 (志摩) (白鳥)		RSK	
	NHK総合		
	(NHK教育)		
	(NHK教育)		

2002年4月現在

※各局の中継局として56chを使用している場合があります。

アフターサービスについて

保証について

○保証書（別途添付）

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

○保証期間

お買い上げの日から1年間です。

修理を依頼されるとき

「故障かなと思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき（保証書に販売店名、日付印がないと無効になります）
恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎてるとき

お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

データ更新について

本機レーナビ・ソーラーは取締りポイント、速度取締機、Nシステムの最新位置データを使用して製造を行っていますが、新設の速度取締機やNシステムがあった場合、そのデータを反映させた登録データに更新することができます。（有料）

データの更新をご希望される場合は、お買い求めになられた販売店、当社カスタマーセンターまでご相談ください。データの更新時期は1年2回を目安にしていますので、ご相談された時の最新の当社作成データを使用し更新作業後、返却いたします。この場合、工場出荷状態に戻ってしまう場合がありますので、あらかじめご了承ください。

データ更新を依頼される場合
更新料¥5,250（税込）と、送料が別途必要です。

アフターサービスについて(つづき)

新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントの情報提供のお願い。

本機でお知らせできない新設された速度取締機、Nシステムの情報や高速道、一般道に関わらず有人取締りが頻繁に行われるエリア、追尾取締りや検問などの目撃情報がありましたら、弊社カスタマーセンターまたは、e-メール等でお知らせ頂けますようお願い致します。

カスタマーセンター ☎0120-75-6867

(携帯電話・PHSよりおかけの方は、TEL.046-275-6867)

e-メール：ranavi@cellstar.co.jp / ホームページ：www.cellstar.co.jp

※携帯電話等からe-メールでの情報提供をして頂き、返信メールをご希望される場合には、パソコンからのメールを受信できる状態、または、cellstar.co.jpをドメイン指定してください。詳しい設定方法については、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

各地域のお客様相談窓口一覧

- | | |
|-----------------------------------|---|
| ■北海道地区
北海道セルスター工業株式会社 | TEL.011-882-1225(代) FAX.011-881-7251
〒004-0843 札幌市清田区清田三条1-3-1 |
| ■東北地区
セルスター工業(株) 仙台営業所 | TEL.022-218-1100(代) FAX.022-218-1110
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158 |
| ■関東地区
セルスター工業(株) 関東営業所 | TEL.046-273-1100(代) FAX.046-273-1106
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 |
| ■中部・北陸地区
中部セルスター工業株式会社 | TEL.0583-70-6325(代) FAX.0583-70-6328
〒509-0131 岐阜県各務原市つつじが丘8-161-1 |
| ■関西・中国・四国地区
関西セルスター工業株式会社 | TEL.0727-22-1880(代) FAX.0727-22-5575
〒562-0004 大阪府箕面市牧落3-2-20 |
| ■九州地区
九州セルスター工業株式会社 | TEL.092-552-5252(代) FAX.092-552-5300
〒811-1347 福岡県福岡市南区野多目1-11-8 |
| ■セルスター工業株式会社
カスタマーセンター フリーダイヤル | 0120-75-6867 TEL 046-275-6867
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 |

●名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

仕様・定格

GPS受信部

受信周波数 : 1575.42MHz (L1)、C/Aコード
受信方式 : 16chパラレル受信
受信感度 : -141dbm以下

レーダー受信部

受信方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数 : Xバンド、Kバンド

レシーバー部

受信方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数 : ヘリテレ無線 340MHz帯～372MHz帯
デジタル無線 159MHz帯～160MHz帯
カーロケータ 407MHz帯
350.1MHz無線 350.1MHz
レッカー無線 154MHz帯～468MHz帯
署活系無線 347MHz帯～362MHz帯

本体

内蔵バッテリー容量: 400mAh
電源電圧 : 内蔵バッテリー/DC3.6V、DCコード/DC12V
動作温度範囲 : -10℃～+65℃
消費電流 : 待機時2mA以下 (GPS/レシーバー部OFF)、最大200mA以下
本体サイズ・重量 : 78 (W) × 115 (D) × 35 (H) mm 175g

※改良等の為、本機の仕様・定格などを変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

付属品 ※ご使用の前に、ご確認ください。

- 本体×1
- マウントベース×1
- 吸盤(フロントガラス取付用)大×2、小×1
- DCコード×1
- ダッシュボード取付用両面テープ×1
- サンバイザークリップ×1
- サンバイザー保護シール×1
- ウインドウ取付金具×1
- 補助プレート×1
- 注意書×4
- 保証書×1
- 取扱説明書(本書)×1

※本書は、資源有効活用を目的として、環境に配慮した古紙100%再生紙および大豆油インクを使用しております。



製造総発売元

全国自動車用品工業会会員 <http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR セルスター工業株式会社

本社/〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 TEL.046-273-1100(代) FAX.046-273-1106

PP-D225MN 2004.3